

コピーボード **M-5**

取扱説明書 (CD-ROM版)



このたびは、「PLUS コピーボード」をご購入いただき誠にありがとうございました。

製品の機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの「取扱説明書 (CD-ROM)」をよくお読みください。なお、お読みになった後も必ず保管してください。

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- CompactFlashおよびCFはSanDiskの商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

ご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

目次

安全上のご注意《必ずお読みください》	4	■ソフトウェアガイド編	37
警告・注意	4	ソフトウェアご使用前に	38
お願い・お手入れについて	6	収録されているソフトウェアと概要	38
製品の梱包内容	7	動作環境	38
本体の名称	8	Windows 98SEのパソコンとUSB接続するには	39
■設置・組み立て編	9	ドライバのセットアップ (Windows 98SE)	39
設置の前にお読みください	10	ドライバのアンインストール (Windows 98SE)	40
設置上のご注意	10	Windows Me/2000/XPのパソコンと	
設置の種類	10	USB接続するには	41
壁面設置のしかた	11	本機の取り外し	42
スタンド設置のしかた	14	Windows 98SEの場合	42
スタンドの組み立てと横設置	14	Windows Me/2000/XPの場合	42
スタンドの組み立てと縦設置	16	M-5セットアップユーティリティ使うには	43
パーティション設置のしかた	18	インストールのしかた	43
組み立てと設置	18	起動のしかた	43
■本体取扱説明編	20	取扱説明書を見るには	44
使いかたガイド	20	Acrobat Reader インストールのしかた	44
本体操作・端子各部の名称	21	M5-取扱説明書の開きかた	44
CFメモ리카ードの取り扱い	22	イメージビューワを使うには	45
読み取り範囲	22	インストールのしかた	45
本体操作のしかた	23	起動のしかた	45
ACアダプタの接続と電源の入/切	23	ソフトウェアの削除	46
描いたシート面を保存する	24		
内蔵メモリに保存する場合	24		
CFメモリに保存する場合	25		
内蔵メモリクリアのしかた	26		
シート面スクロールのしかた	26		
縦設置/横設置の設定	26		
画像ファイルをパソコンに保存する	27		
本体と直接USB接続して保存/消去する			
(内蔵メモリ/CFメモ리카ード)	27		
PCカードアダプタやメモ리카ードリーダー/ライター			
(USB接続タイプ) を使用する	31		
PCカードアダプタを使用	31		
メモ리카ードリーダー/ライター			
(USB接続タイプ) を使用	32		
故障と思われる前にもう一度ご確認ください	33		
仕様	34		
クイックキャリブレーションの方法	35		
消耗品・別売品のご案内	36		
		アフターサービス	裏表紙

安全上のご注意 《必ずお読みください》

ご使用の前に

絵表示について

「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の意味

表示例



この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



感電注意



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



分解禁止



この記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

警告



分解しない

サービスマン以外の方は本体の裏板を開けないでください。内部に高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。ランプの交換および内部の点検・調整・修理・清掃はお買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。



感電注意



故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている・変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

すぐに本体の電源を切り、そのあと必ずAC電源アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないようにご注意ください。本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



ぶらさがらない

本機にぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。たおれた場合に思わぬ怪我の原因となります。



水場や水にぬれるような所には置かない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、屋外での使用はさけてください。

警告



AC電源アダプタのコードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」に交換をご依頼ください。

AC電源アダプタのコード・プラグについて



● めくれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



● 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。



● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



● 電源プラグの端子および端子の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因になります。



壁面取り付けは工事が必要です。

壁面に取り付ける場合は本体および取り付け金具の総重量に長期間十分に耐えうる（また、地震にも耐える）壁面強度が確保されているかをお確かめください。強度が不足している場合は、補強してください。

（施工に関しては弊社販売店にお問い合わせください。）



AC電源アダプタの取り扱い

- 指定以外のACアダプタを本機に接続しないでください。指定以外のAC電源アダプタを使用すると、火災・事故の原因となります。
- 表示以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- AC電源アダプタをぬらさないでください。火災・感電の原因となります。
- AC電源アダプタに衝撃を与えないでください。火災・感電の原因となります。



付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで使用しない

付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量により耳に傷害を与えるおそれがあります。また、スピーカを破損するおそれもあります。



1人で本体を持ち上げない

本機の設置などで本体を持ち上げる場合は、2人以上で持ち上げてください。倒れたりしてけがの原因となります。

注意



乗ったり、重いものを置いたりしない

本機に乗らないでください。特に、小さなお子様がいる場所ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



使わないときはプラグを抜く

長時間、使用しないときは安全のため、必ずAC電源アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。スタンドタイプの場合は、キャスターロックをしてください。



スタンドタイプのキャスター（別売品）

設置して使用する場合はキャスターをロックしてください。また、移動する場合は転倒の恐れがありますので、キャスターロックを解除してください。

お願い

テープ類を使用する場合

シートの表面に、テープ等を使用する場合は、メンディングテープをご使用ください。はがした後は必ずきれいに拭きとってください。

また、紙などを貼ったままシートを移動することはおやめください。故障の原因となります。

シートの表面を傷つけないで

シートの表面を鋭利なもの、硬いものでたいたり、突き刺したりしないでください。

継ぎ目を汚さないで

シートの継ぎ目は汚さない様に注意してください。まれに、コピーされる場合があります。

シートは薬品で拭かない

本体およびシートを、シンナー、ベンジン、アルコール等で拭かないでください。変色したり、シートを傷めることがあります。

専用マーカーを使用して

必ず専用マーカーを使用してください。その他のマーカーを使用するとシートを傷つけたり、インクが消えなくなることがあります。マーカーは必ず、横向きにして保管してください。消えにくくなる場合があります。

シートに記入した文字を長時間放置しないで

消えにくくなる場合があります。

読取有効サイズ内に記入して

有効サイズ外の描画部分はコピーやメモリされません。

本体の移動は（別売のスタンドに組み付けている場合）

……

移動するときは、キャスターロックスイッチを解除にして、本体の左右を支えて静かに行い、衝撃をさけてください。

設置場所は……

直射日光が当たるような暑いところ、また、エアコンの風が直接当たるところには置かないでください。油煙や湿気の当たるような場所（調理台や加湿器のそば等）に置かないでください。

CD-ROMの取り扱い

ラベルが印刷されていない面（データ記録面）には触れないでください。記録面が汚れると正常にデータが読み取れなくなります。またCD-ROMに紙やシールなどを貼らないでください。

長時間直射日光の当たる所や暖房機器の近くに置いたり、落したり、曲げたりしないでください。CD-ROMが変形しデータが読み取れなくなります。

お手入れについて

いつまでも鮮明な画像をおとりいただくために、以下のお手入れを定期的に行ってください。

シートの清掃

シートが汚れたときは、よくしぼった布で水拭きしてください。また、汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めたもので拭いて、洗剤が残らないように拭きとってください。

シートが完全に乾いてからお使いください。

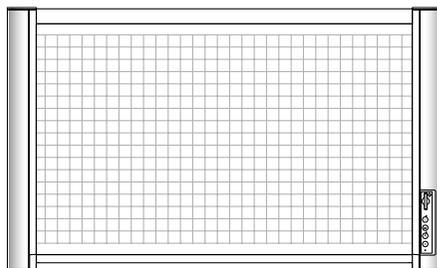
マーカートレイ、化粧枠の清掃

マーカートレイや化粧枠についたマーカーによる汚れは、よくしぼった布で水拭きにしてください。

製品の梱包内容

製品梱包内容は次の通りです。ご使用前に確認してください。

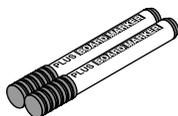
コピーボード本体…1



■本体付属品

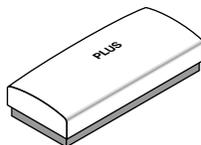
- ・マーカーセット…2本（黒、赤）

この専用マーカーでシート面に描画します。



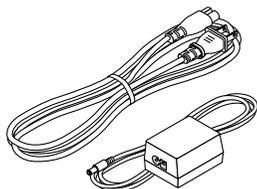
- ・イレーサ…1個

描画を消すときに使います。



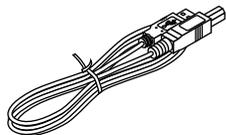
- ・AC電源アダプタ（電源コード3.0m付き）…1個

コピーボードに電源を供給するための電源アダプタです。



- ・USBケーブル（タイプB↔タイプA 3m）…1本

本体とパソコンをつなぐケーブルです。



- ・プラスドライバー…1本

本体設置時に使います。



- ・目隠しシール…11枚

本体のネジ穴およびネジを目立たなくしたい場合は、台紙から剥がして貼ってください。

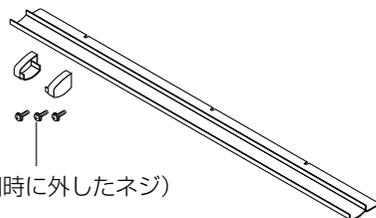


- ・マーカートレイ（1組）

マーカー、イレーサが置けます。（横設置専用）
（サイドカバー 2個、M4×8 ネジ 3本）

*工場出荷時は梱包のため本体に固定されていますので、一旦、取り外してください。

（取り外したネジはトレイ取り付け時に使用します。）

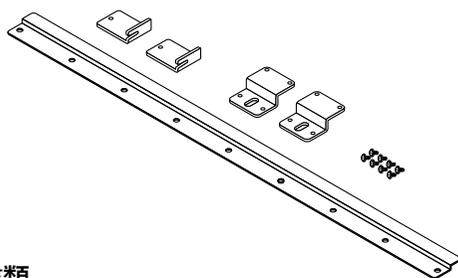


（開梱時に外したネジ）

- ・壁掛け金具（1組）

本体を壁面に固定設置する金具です。

（壁掛けバー 1本、上部ブラケット 2個、下部ブラケット 2個、ブラケット取り付けネジM4×12 8本）



■書類

取扱説明書（簡易版）…1冊

壁掛け位置決めシート…1枚

CD-ROM…1枚（取扱説明書（PDF版）、

セットアップドライバ、イメージビューワ）

保証書…1枚

ご愛用者カード…1枚

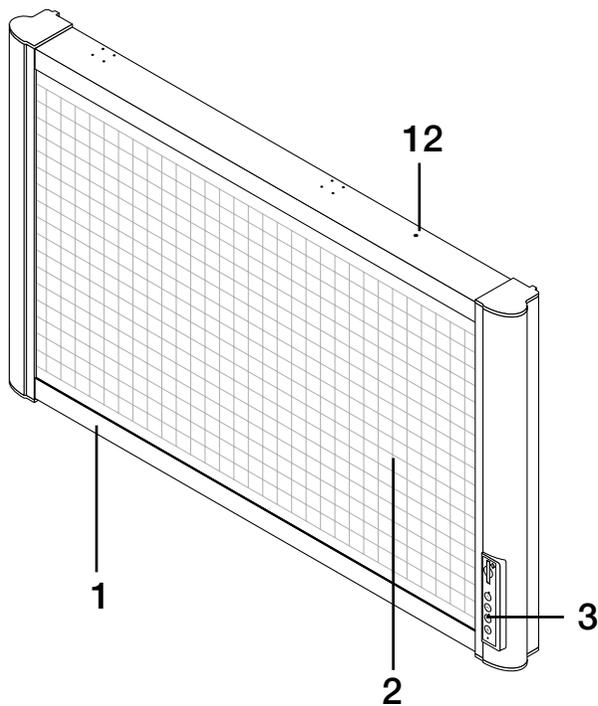
FAX登録用紙…1枚

FAXお問い合わせフォーム…1枚

お問い合わせシール…1枚

本体の名称

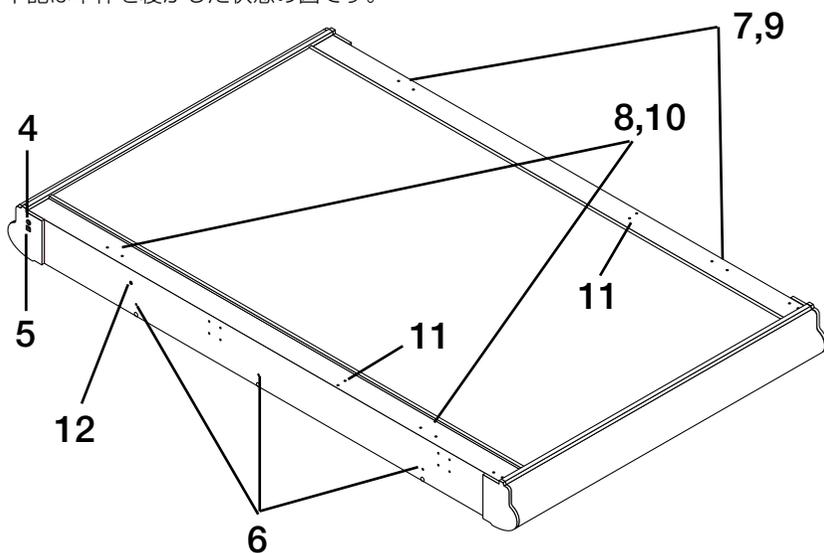
本体前面・上面



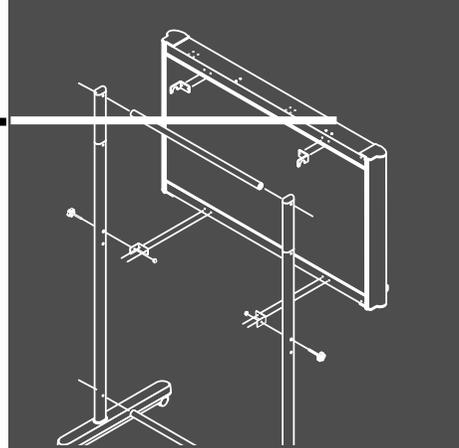
1. コピーボード (本体)
2. シート
3. 操作部 (21ページ参照)
4. DC入力端子 (21ページ参照)
5. USB端子 (タイプB) (21ページ参照)
6. マーカートレイ取り付けネジ穴
7. 壁掛け金具取り付けネジ穴 (上部ブラケット用)
8. 壁掛け金具取り付けネジ穴 (下部ブラケット用)
9. スタンド横設置ネジ穴 (上部ブラケット用)
10. スタンド横設置ネジ穴 (下部ブラケット用)
11. スタンド縦設置ネジ穴 (上部ブラケット用)
12. スタンド縦設置ネジ穴 (下部ブラケット用)

本体背面・底面

下記は本体を寝かした状態の図です。



設置・組み立て編



お客様へ

コピーボードの壁面取り付けには専門の技術が必要です。
お買い上げの販売店または弊社カスタマーセンターにご
依頼ください。

販売店様・施工業者様へ

お客様の安全のため取り付け場所の強度には、本体および
取り付け金具等の荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設
計施工をお願いいたします。

設置の前にお読みください

設置上のご注意

⚠ 警告

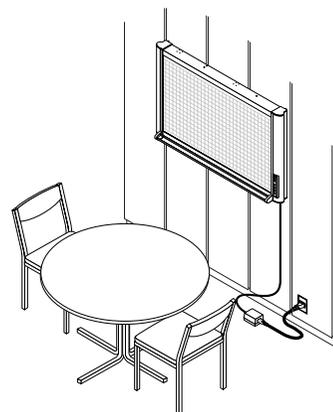
- 設置および組立は、必ず本書に基づいて行なってください。誤った設置や組立はけがの原因となります。
- コピーボード本体の取り付け、取り外しには2人以上の人数で本体を持ち上げてください。
- 落下防止のため取り付け場所の強度および固定方法は、コピーボード本体および取り付け部品の荷重に長期間十分耐え、また地震にも十分耐える施工を行ってください。誤った取り付けを行った場合、コピーボード本体が落下してけがの原因となります。
- 壁面固定部のネジはM6以上を使用してください。M6未満を使用するとコピーボード本体が落下してけがの原因となります。
- 頑丈な間柱で補強された壁面に付けてください。
- コンクリート壁面にはアンカーナットやアンカーボルトに類するものをご使用ください。

設置の種類

●壁面設置

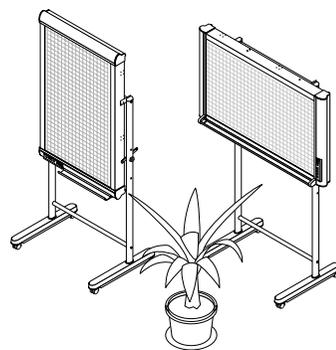
本機に付属の壁面取り付け金具を使って、壁に直接取り付ける方法です。横向きの設置ができます。

別売品の縦用壁掛けキットを使うと縦向きの設置ができます。(縦用壁掛けキット：形名 M-5-W 注文コード44-563)



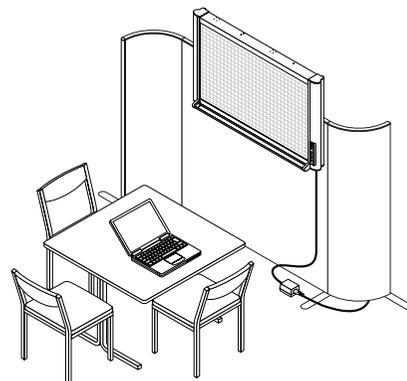
●スタンド (横設置／縦設置)

別売品のスタンドに取り付けて移動可能な設置ができます。スタンドは横でも縦でも取り付けることができます。(スタンド [縦設置／横設置]：型名 M-5-T 注文コード44-551)



●パーティション設置

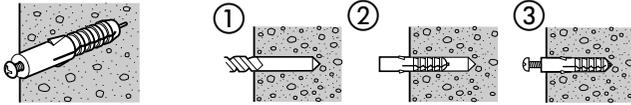
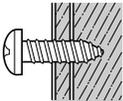
別売のパーティション取り付け金具を使って、パーティションパネルに引っかける方法です。(パーティションハンガー：型名 M-5-P 注文コード 44-552)



【ご参考】壁面の材質による取り付け方法

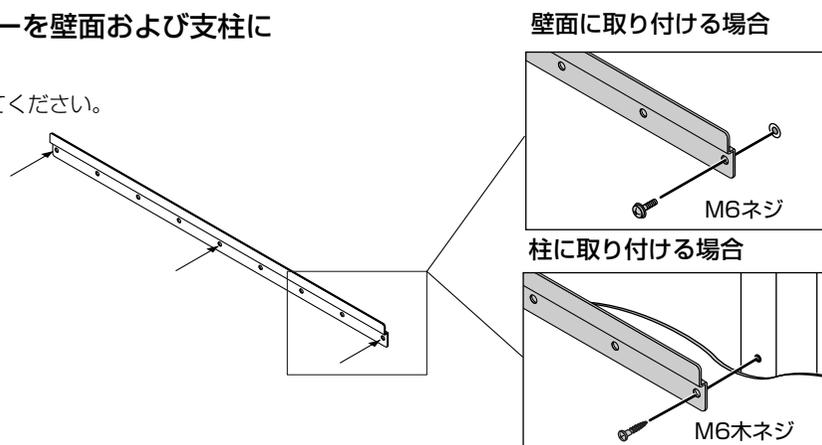
壁面の材質に合った取り付けをしてください。

強度の足りない壁面は柱や間柱に本体を取り付けてください。

取り付け壁面の材質	取り付け方法
木製壁	木ねじ ①キリで適当な穴をあけ②木ネジで本体を取り付けます。 
コンクリート壁	U-プラグ ①ドリルで壁に下孔をあけ②U-プラグを差し込み③ネジで壁掛けバーを締め付けます。U-プラグ指定の穴径ドリルをご使用ください。 
スチール壁	十字穴付きタッピングネジ (なべ頭) スチール壁面内部に補強があることを確認して、適当な径のドリルで穴をあけ、壁掛けバーをタッピングネジで取り付けます。 

(2) 本体に付属の壁掛けバーを壁面および支柱に取り付けます。

- 最低3箇所以上ネジ止めしてください。



(3) マーカートレイを本体に取り付けます。

- ① 付属のマーカートレイの両端にサイドカバーをはめ込みます。

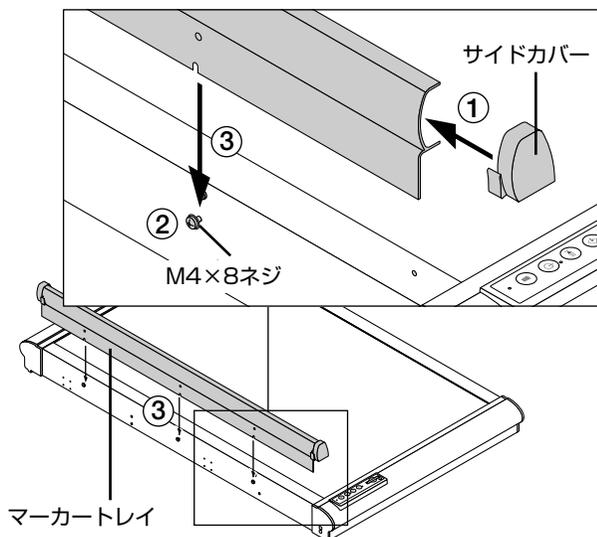
- サイドカバーは右用と左用があります。

- ② M4×8ネジ3本を本体に仮止め（約3mmぐらいあける）します。

- 付属のドライバをご使用ください。

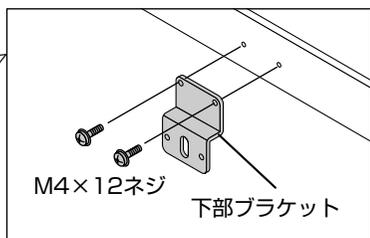
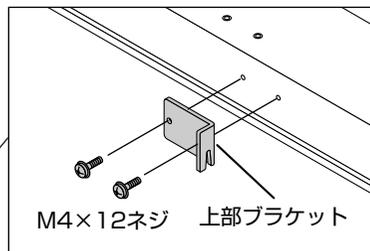
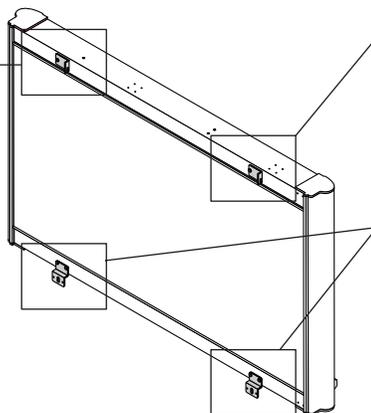
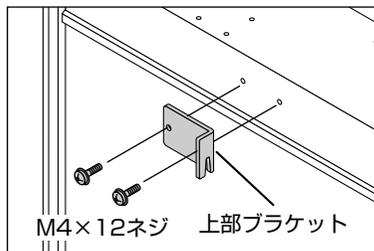
- ③ 仮止めのネジ（3箇所）にマーカートレイを差し込み、本締めします。

- サイドカバーおよびマーカートレイは奥まで差し込んでください。



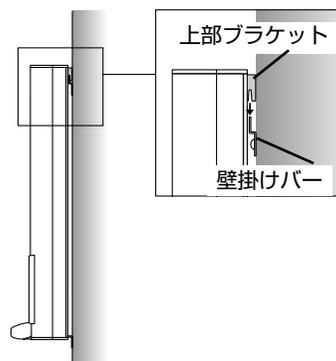
(4) 本体に付属の上部ブラケット2個と下部ブラケット2個をM4×12ネジで取り付けます。

- 上部ブラケットは左右とも同じ向きで取り付けます。

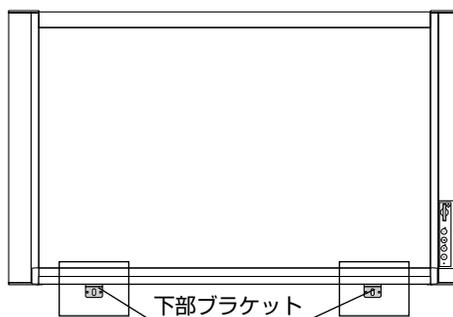


(5) 本体を壁掛けバーに取り付け、下部ブラケットを固定する

- ① 本体に取り付けた左右の上部ブラケットを壁掛けバーに引っかけます。

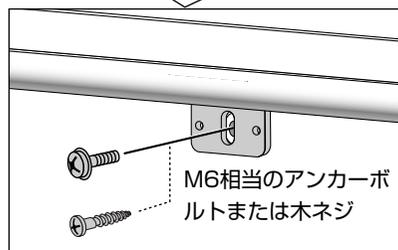


- ② 左右の下部ブラケットを壁面に固定します。
(壁面の取り付け方法によって固定のしかたが異なります。)



⚠ 注意

- 上部ブラケットは固定されていません。下部ブラケット固定時に極端に本体をスライドさせないでください。本体が壁掛けバーから外れて落下しけがの原因となります。
- 本体は2人以上で持ってください。落下や転倒して思わぬけがの原因となります。



スタンド設置のしかた

スタンド設置には別売品のスタンド [横/縦共通] (型名: M-5-T 注文コード: 44-551) が必要です。

スタンドの組み立てと横設置

本体に付属の部品：マーカートレイ (1個)、サイドカバー (2個)、マーカートレイ取り付けM4×8ネジ (3本：開梱時に外したネジ)、本体取り付けM4×12ネジ (8本)

スタンド梱包一覧 (横設置で使用する部品)

脚 (キャスター付) : 2本、脚カバー : 2本個、フレーム : 2本、脚座金 : 2個、脚固定ネジM8×50 : 4本、スプリングワッシャ : 4本、延長フレーム : 2本、キャップ : 2個、固定ノブ (袋ナット付) : 2個、横バー : 2本、六角穴付ネジ : 4本、平ワッシャ : 4個、上部ブラケット (左右) : 2個、下部ブラケット : 2個、六角レンチ (M8) : 1本、六角レンチ (M5) : 1本

●組み立てと設置の流れ

スタンド組み立て

マーカートレイを
本体に取り付け

ブラケットを本体に
取り付け

スタンドに本体を
取り付け

(1) T字型脚を組み立てます (2本)。

①脚を脚座金、スプリングワッシャ、六角穴付きM8×50ネジを付属の六角レンチ (M8) で取り付けます。

②脚の向きに合わせて脚カバーをフレームに入れ、更に脚カバーを下げて脚にはめ込みます。

③フレーム先端のマークに延長フレームのマークの向きを合わせて奥まで差し込みます。(マーク面を逆にして差し込むと、延長フレームが抜けなくなりますのでご注意ください。)

お知らせ

- ・延長フレームを取り付けると床からの高さが1700mm、取り付けないと1465mmになります。これにより高さの調節を行います。
- ・延長フレームを取り付けない組み立て方は「スタンドの組み立てと縦設置」の(1)をご覧ください。

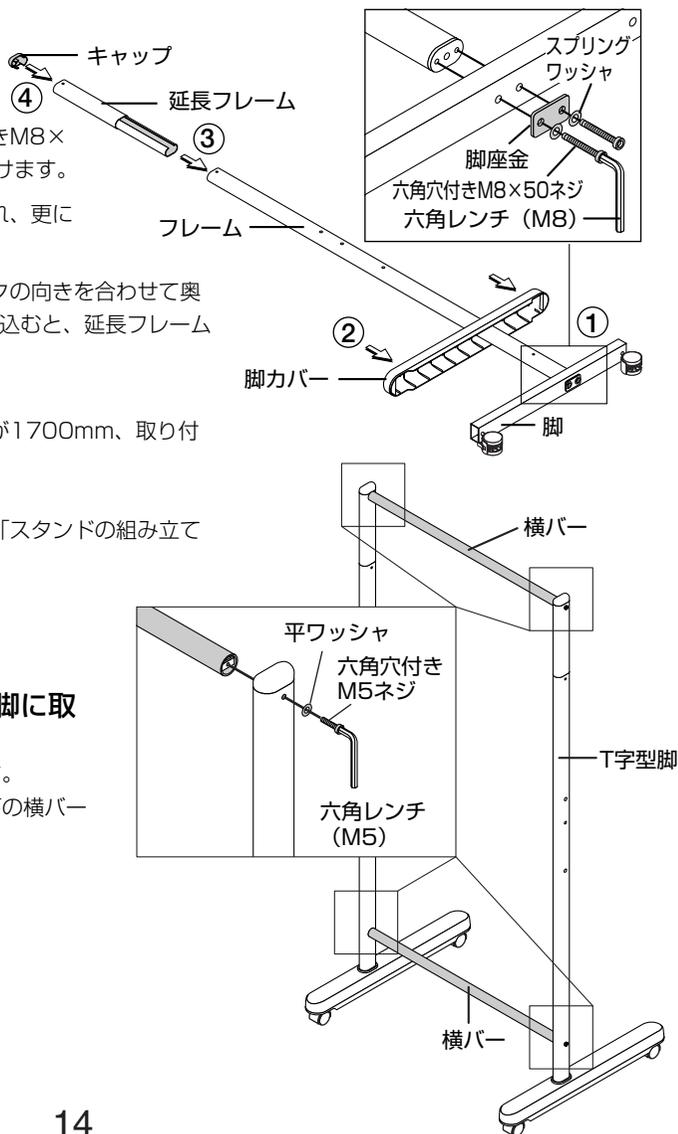
④フレーム上部にキャップをはめ込みます。

(2) 横バー2本を(1)で組み立てたT字型脚に取り付けます。

六角穴付きM5ネジと平ワッシャで取り付けます。

付属の六角M5用レンチを使って仮止めし、上下の横バーを取り付けた後に本締めします。

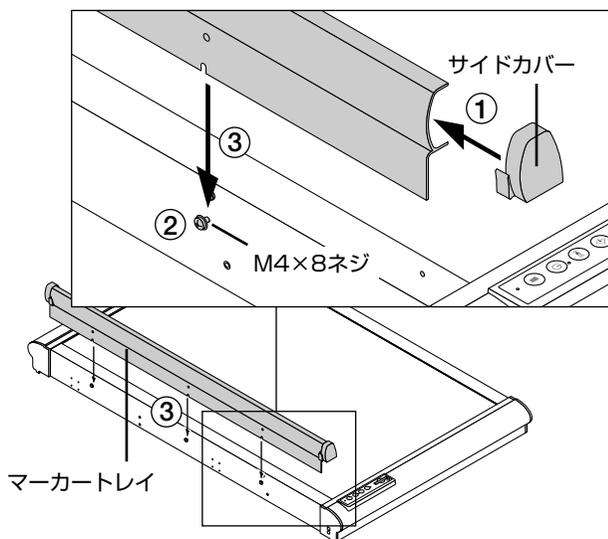
※組立は平坦な場所で行ってください。



(3) マーカートレイを本体に取り付けます。

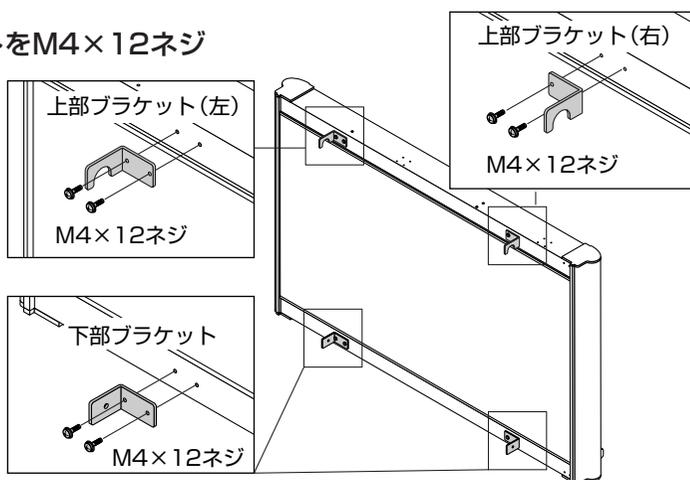
*工場出荷時は梱包のため本体に固定されています。
ネジを外し、向きに注意して取り付けてください。

- ①付属のマーカートレイの両端にサイドカバーをはめ込みます。
 - サイドカバーは右用と左用があります。
- ②M4×8ネジ3本を本体に仮止め（約3mmぐらいあける）します。
 - 付属のドライバをご使用ください。
- ③仮止めのネジ（3箇所）にマーカートレイを差し込み、本締めします。
 - サイドカバーおよびマーカートレイは奥まで差し込んでください。

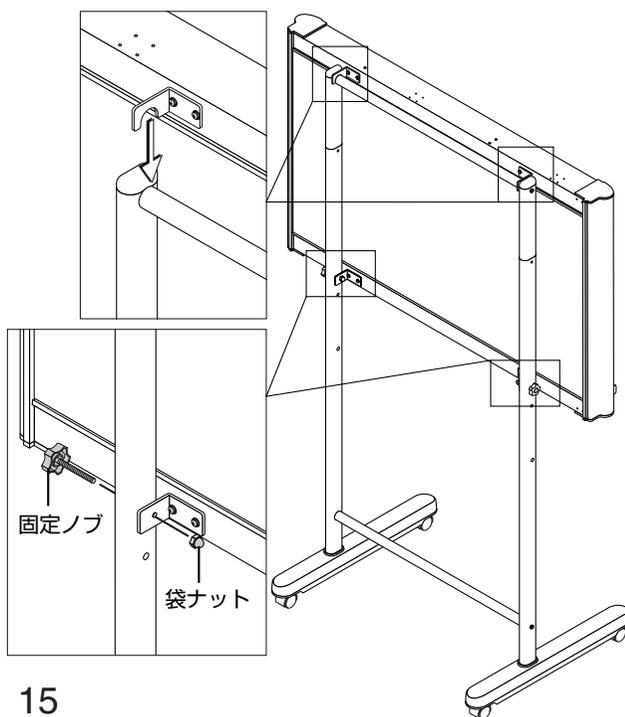


(4) 上部ブラケットと下部ブラケットをM4×12ネジで本体に取り付けます。

- 上部ブラケットには左用と右用があります。間違わないでください。
- 下部ブラケットは左右共に同じ形状ですが各々外向きに取り付けてください。



(5) 本体の上部ブラケット(左右)をスタンドに引っ掛け、下部ブラケットを固定ノブと袋ナットで締め付けます。



⚠ 注意

- スタンドが滑り出さないようにキャスターをロックしてください。
- 設置及び高さ調整をする時には、本体は2人以上で持ってください。落下や転倒して思わぬけがの原因となります。

スタンドの組み立てと縦設置

本体に付属の部品：取り付けネジM4×12：6本

スタンド梱包一覧（縦設置で使用する部品）

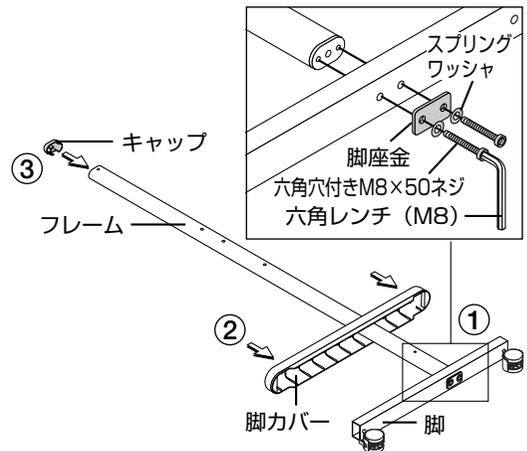
脚（キャスター付）：2本、脚カバー：2本個、フレーム：2本、脚座金：2個、脚固定ネジM8×50：4本、
スプリングワッシャ：4本、キャップ：2個、固定ノブ（袋ナット付）：2個、横バー：2本、六角穴付ネジ：4本、
平ワッシャ：4個、上部ブラケット（左右）：2個、下部ブラケット：2個、六角レンチ（M8）：1本、
六角レンチ（M5）：1本、縦置きペントレイ：1個、サイドカバー：2個、M3化粧ネジ：2本

●組み立てと設置の流れ



(1) T字型脚を組み立てます（2本）。

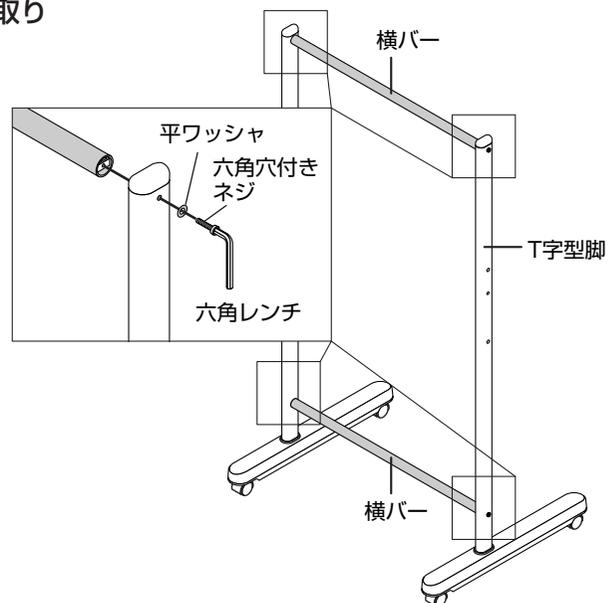
- ① 脚を脚座金、スプリングワッシャ、六角穴付きM8×50ネジを付属の六角レンチ（M8）で取り付けます。
- ② 脚の向きに合わせて脚カバーをフレームに入れ、更に脚カバーを下げて脚にはめ込みます。
- ③ フレーム上部にキャップをはめ込みます。



(2) 横バー2本を(1)で組み立てたT字型脚に取り付けます。

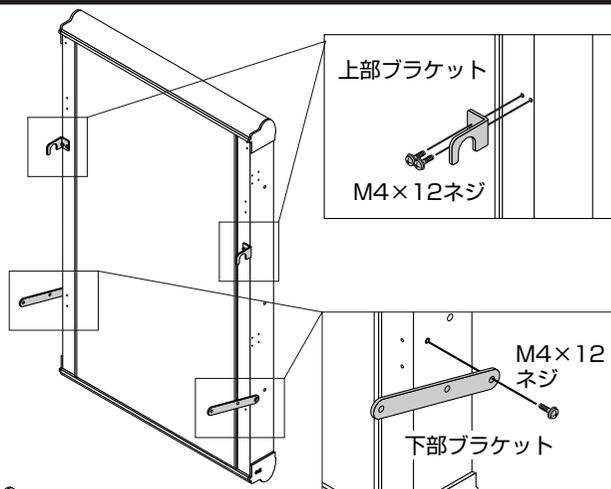
六角穴付ネジと平ワッシャで取り付けます。
付属の六角レンチを使って仮止めし、上下の横バーを取り付けた後に本締めします。

※組立は平坦な場所で行ってください。



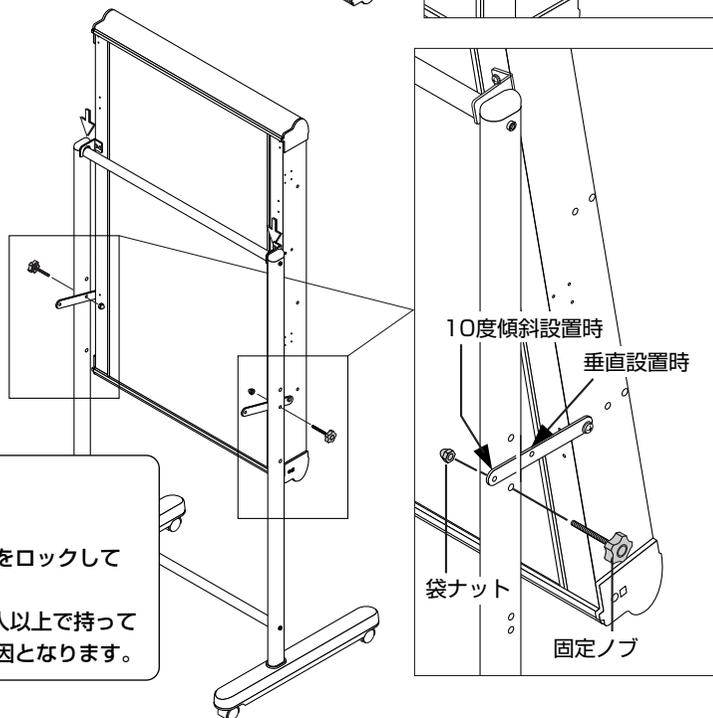
(3) 上部ブラケットと下部ブラケットを M4×12ネジで本体に取り付けます。

- ・上部ブラケットには左用と右用があります。間違わないでください。



(4) 本体の上部ブラケット(左右) をスタンドに引っ掛け、下部ブ ラケットを固定ノブと袋ナット で締め付けます。

角度調整用に下部ブラケットには2箇所(垂直、10度傾斜)のネジ穴があります。目的のネジ穴を選んでください。

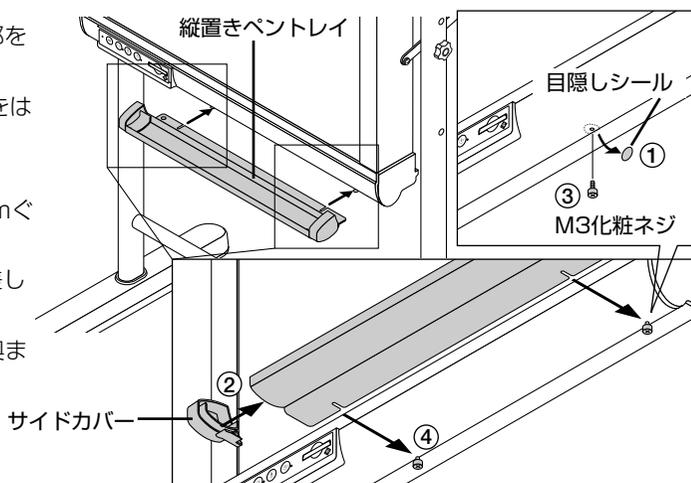


⚠ 注意

- スタンドが滑り出さないようにキャスターをロックしてください。
- 設置及び高さ調整をする時には、本体は2人以上で持ってください。落下や転倒して思わぬけがの原因となります。

(5) 縦置きペントレイの取り付け

- ① 目隠しシール(2箇所)を剥がしてネジ部を出します。
- ② 縦置きペントレイの両端にサイドカバーをはめ込みます。
 - サイドカバーは右用と左用があります。
- ③ M3化粧ネジ2本を本体に仮止め(約3mmぐらいあける)します。
- ④ 仮止めのネジ(2箇所)にペントレイを差し込み、本締めします。
 - サイドカバーおよび縦置きペントレイは奥まで差し込んでください。



(6) 記録画像の縦向き設定

保存画像の向き設定です(26ページ参照)。

パーティション設置のしかた

パーティション設置には別売品のパーティションハンガー（型名：M-5-P 注文コード：44-552）が必要です。

組み立てと設置

本体に付属の部品：マーカートレイ（1個）、サイドカバー（2個）、マーカートレイ取り付けネジM4×8（3本：開梱時に外したネジ）

パーティションハンガー梱包一覧

パーティションハンガー：2本
M4×12ネジ：8本①

ハンガーブラケット：2個
M4×8皿ネジ：4本②

フック：2個
M4×6ネジ：4本③

●組み立てと設置の流れ

マーカートレイを
本体に取り付け

パーティションハンガーを
本体に取り付け

ハンガーブラケットとフックを
パーティションハンガーに
取り付け

パーティションに
本体を取り付け

本品は間仕切り用のハイパーティションパネルにも対応しています。

(1) マーカートレイを本体に取り付けます。

*工場出荷時は梱包のため本体に固定されています。ネジを外し、向きに注意して取り付けてください。

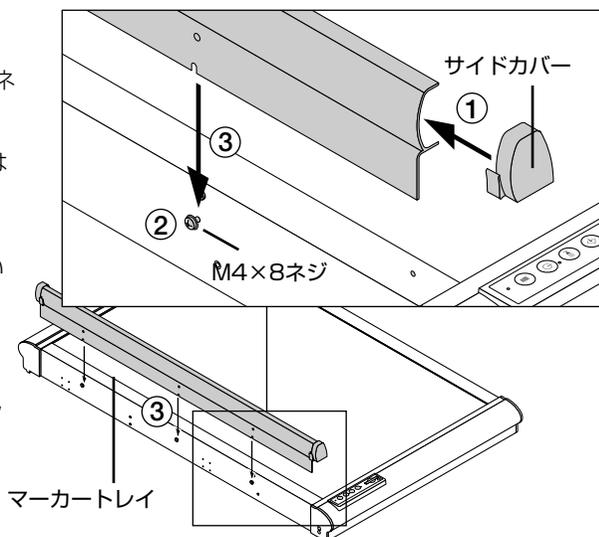
①付属のマーカートレイの両端にサイドカバーをはめ込みます。

●サイドカバーは右用と左用があります。

②M4×8ネジ3本を本体に仮止め（約3mmぐらい開ける）します。

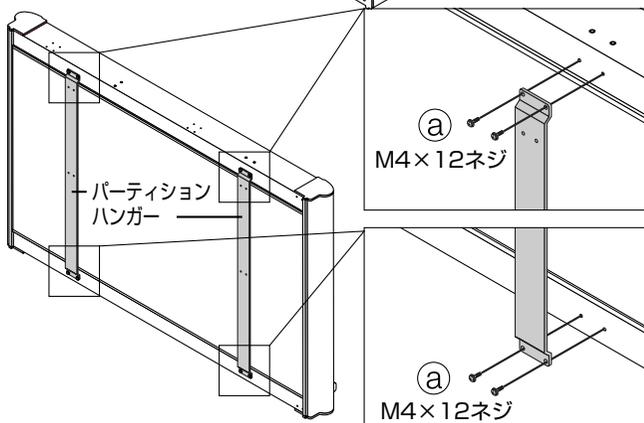
③仮止めのネジ（3箇所）にマーカートレイを差し込み、本締めします。

●サイドカバーおよびマーカートレイは奥まで差し込んでください。



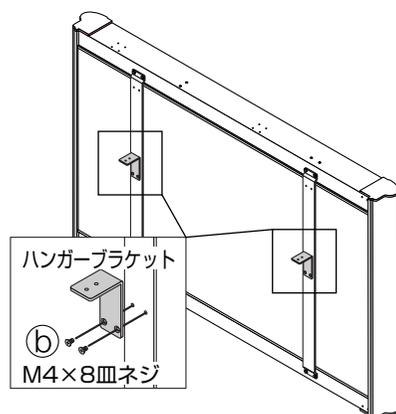
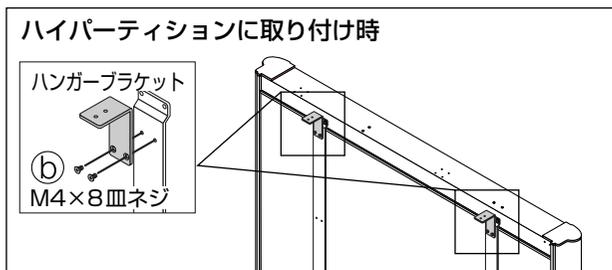
(2) パーティションハンガーを本体に取り付けます（4箇所）。

①M4×12ネジ（2本づつ）で取り付けます。



(3) ハンガーブラケットをパーティションハンガーの中央のネジ穴に取り付けます (左右)。

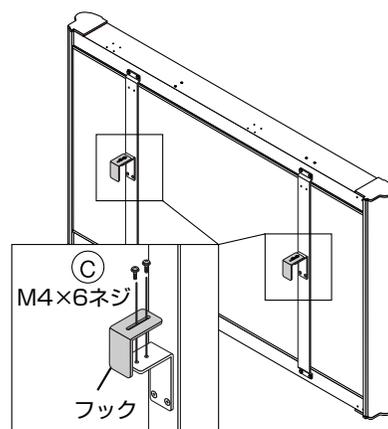
- ㉔ M4×8皿ネジで取り付けてください。
- パーティションハンガーには上部と中央にハンガーブラケット取り付けネジ穴があります。ハイパーティションパネルに本体を取り付ける場合は、上部に取り付けてください。



(4) ハンガーブラケットにフックを取り付けます。

ハンガーブラケットの上部に㉕ M4×6ネジ (2本づつ) でフックを取り付けます (2箇所)。

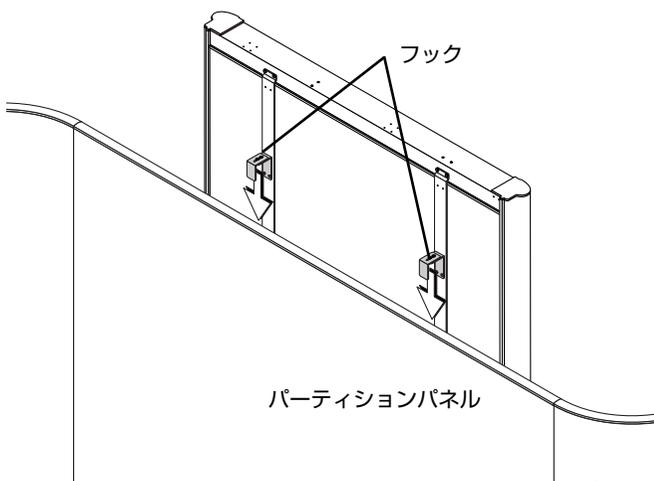
- フックは最大幅60 mmになるように仮止めすると引っかけやすくなります。
- ハンガーブラケットは50~60mmのパネル厚さに適しています。



(5) 本体をパーティションパネルに取り付ける

フックをパーティションパネルに引っかけます。

パネル幅に合わせてフックを縮めて確実に挟み込み、フックのネジを本締めします。



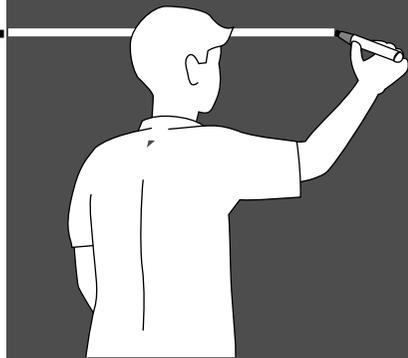
⚠ 警告

- 本体は自重でパーティションに乗っているだけです。下から押し下りして本体を持ち上げる様な事はしないでください。パーティションからはずれて本体が落下する場合があります。

⚠ 注意

- 不安定なパーティションパネルはパネルの脚や支柱を床等に固定し、転倒防止対策を行ってください。

本体取扱説明編



コピーボード本体に関係することがらを記載しています。
付属ソフトウェアの使いかたは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

■使いかたガイド

【記録と転送】

コピーボードに書いた内容の記録が必要になったときは、内蔵メモリに保存することができます。24ページ

内蔵メモリまたはCFメモリカードに記録されている画像データは、USB接続で直接パソコンに転送することができます（27ページ）。

【CFメモリ保存】

内蔵メモリに加えてCFメモリカードに大量の記録をしたり、パソコンに保存することができます。25,27ページ

CFメモリカードのデータをパソコンに保存するには市販のPCカードアダプタやCFカードリーダー/ライターを使用したり、またCFメモリカードをコピーボードのカードスロットに差し込んだ状態でUSB接続をすれば直接パソコンで処理することができます。27ページ

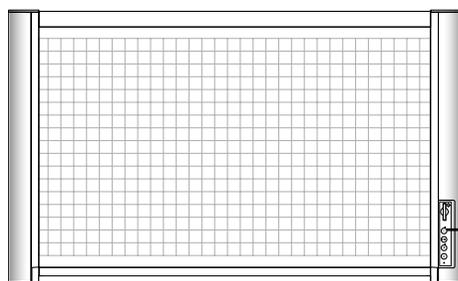
【画像の編集とプリント】

内蔵メモリの記録ファイルやパソコンに保存したファイルは、CD-ROMに収録されている「PLUS イメージビューワ」やお持ちの画像ソフトを使って編集・消去やプリントができます。45ページ参照

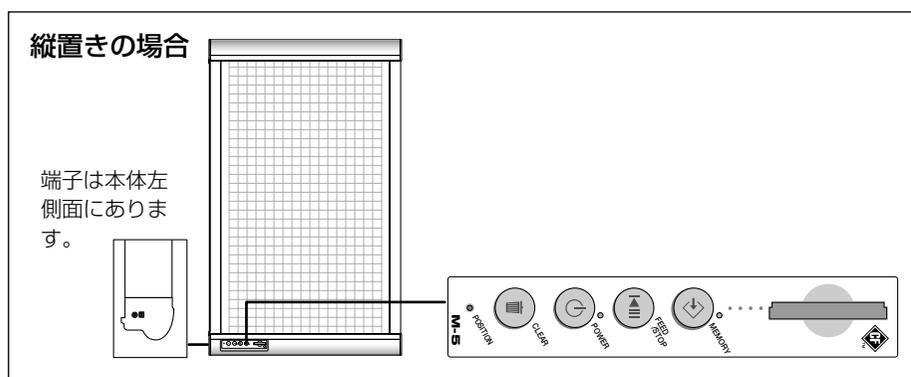
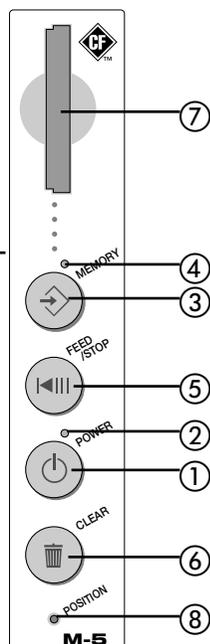
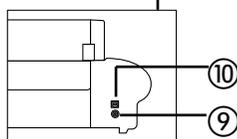
【コピーボード記録データの応用】

インターネットのメールの添付ファイルとして送信することができます。
CD-ROMに収録されている「PLUS イメージビューワ」やお持ちの画像ソフトを使って文書作成や編集ソフトに貼り付けられる画像フォーマットに変換できます。45ページ参照

本体操作・端子各部の名称



端子は本体下面にあります。



① Powerボタン

電源の入/切に使用します。

② Powerランプ（緑色）

電源が入っていると点灯し、切れているときは消灯します。点滅はエラーや動作状態を示します。

③ Memoryボタン

シート面に描いた図形や文字などをメモリ保存するときに使用します。

④ Memoryランプ（オレンジ色）

メモリ保存中は点滅します。点滅速度によりエラー状態を知らせます。

⑤ Feed/Stopボタン

シート1面の自動送りと強制停止に使用します。

⑥ Clearボタン

内蔵メモリの全画像ファイルを削除するとき（3秒以上押す）に使用します。

⑦ カードスロット

CFメモリーカード専用のカードスロットです。

⑧ Positionボタン（針穴：ボタンは穴の奥にあります。）

メモリに保存する画像の縦/横切り換えボタンです。

⑨ DC入力端子

AC電源アダプタのDC側を接続します。（本機の専用AC電源アダプタ以外は接続しないでください。）

⑩ USB端子（タイプB）

パソコンのUSB端子（タイプA）と接続します。

お知らせ

ランプの点滅周期と本書での表現

本機の動作状態や異常状態をランプの点滅で知らせます。本書の説明では下記のような言い方をしています。

本書の表記	点滅周期	点滅イメージ図
低速点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯	
高速点滅	0.18秒点灯/0.18秒消灯	
間欠点滅	0.25秒点灯/0.25秒消灯/0.25秒点灯/1.25秒消灯	
エラー点滅	Memoryランプ（オレンジ色）とPowerランプ（緑色）が交互に高速点滅	

CFメモ리카ードの取り扱い

- 内蔵メモリやCFメモ리카ードに保存したデータは万一の故障や消失に備えて、他の媒体に定期的に保存することをお勧めします。
 - 保存した内容の損害については当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - メモ리카ードはCompact Flash規格に準拠した仕様のものでご使用ください（動作電圧 3.3V/5V 対応）。
- ※コンパクトフラッシュメモ리카ードを本書ではCFメモ리카ードと略します。

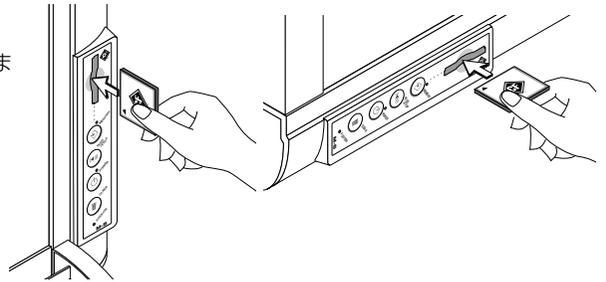
CFメモ리카ードを入れるとき

●横設置で使用している場合

CFメモ리카ードの表面を左側にして垂直にゆっくり差し込みます。奥まで差し込んでください。

●縦設置で使用している場合

CFメモ리카ードの表面を上にして水平にゆっくり差し込みます。奥まで差し込んでください。



ご注意

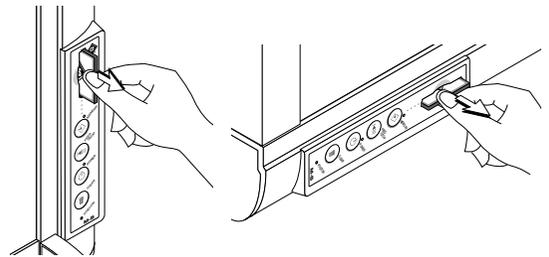
- CFメモ리카ードはゆっくり差し込んでください。
- カードは逆向きには挿入できないようになっていますが、無理に押し込もうとすると故障の原因となります。

CFメモ리카ードを取り出すとき

Memoryランプの点滅が消灯に変わったのを確認してからCFメモ리카ードを引きだしてください。

ご注意

- メモリ保存中（Memoryランプの点滅中）はCFメモ리카ードを抜いたり、AC電源アダプタのケーブルを抜いたりしないでください。データが破損します。なお、メモリ容量不足を示す間欠点滅中はCFメモ리카ードの交換ができます。



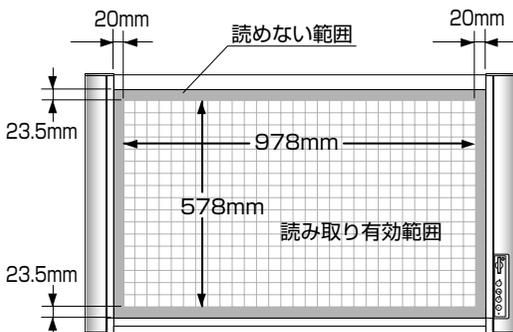
読み取り範囲

読み取り有効サイズ

シート面の周囲は読み取られません。読み取り有効範囲内に描画してください。

お知らせ

- 縦ラインの有効読み取り範囲は罫線内となります。



シート面読み取りに関する注意事項

- Powerボタンを押して電源を入れたとき、またはスタンバイモードでMemoryボタンを押したときは、蛍光ランプの明るさをチェックし読み取り可能な状態になるかを監視しています。蛍光ランプの明るさが安定するまでには時間がかかります。本機ではこの待ち時間をタイマにより制限しています（工場出荷時は20秒：この時間はセットアップユーティリティにより変更可能）。より安定した画質を得るため、蛍光ランプ点灯後約1分以上待ってからメモリ保存することをお勧めします。安定までの時間は環境により変化します。
- 黒・赤以外のマーカー色や他社製マーカーによっては読み取りにくいものがあります。弊社指定マーカーをご使用ください。
- エアコンの吹き出し口など、温度が急激に変化する場所での使用はお避けください。読み取り品質が劣化する場合があります。

本体操作のしかた

この操作は本機のシートに描いた文字や図をメモリに記録する場合、ボタン操作でシート面の切り替えを行う場合に必要です。

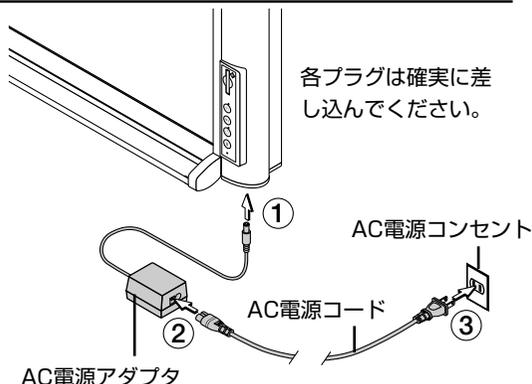
AC電源アダプタの接続と電源の入/切

説明の図は横設置状態です。

1 AC電源アダプタを接続する

- ① 本体のDC電源端子とAC電源アダプタを接続する。
- ② AC電源アダプタとAC電源コードを接続する。
- ③ AC電源コードを壁面のAC電源コンセントと接続する。
主電源が入ります。

以降の説明は主電源が入っている状態で説明しています。

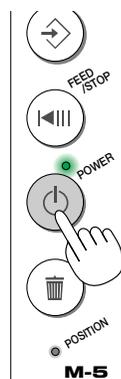


2 Powerボタンを押して電源を入れる

Powerランプが約20秒間点滅したのち点灯に変わり、画像読み込み可能な状態（蛍光ランプ点灯）になります。これで、シート面に描かれた文字や図形などのメモリ（保存）ができる状態になりました。

お知らせ

- 30分間ボタン操作を行わないとスタンバイ（待機）状態になります。
- スタンバイ状態のときでも操作ボタンを押すとその機能の動作を行います。



使用しない場合

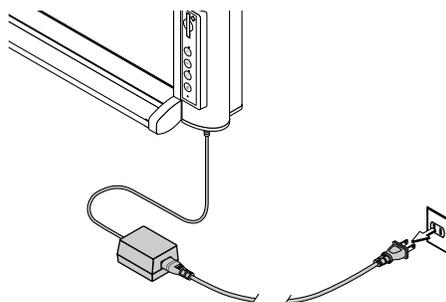
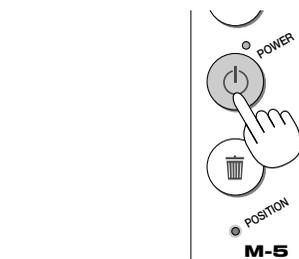
Powerボタンを押して電源を切ります。Powerランプが消えます。

お知らせ

この状態でUSBケーブルをパソコンと接続した場合は、内部メモリまたはCFメモリへのアクセスが可能となります。

お願い

- AC電源アダプタを外すときは壁面のAC電源コンセントから外してください。
- 長期間使用しないときは、電源コードを壁面のコンセントから抜いてください。



描いたシート面を保存する

内蔵メモリに保存する方法と、CFメモリカードに保存する方法があります。

本機はモノクロ専用コピーボードです。カラーで描画している画像はモノクロで保存されます。

■内蔵メモリに保存する場合

準備：Powerランプが点灯していることを確認してください。消えているときはPowerボタンを押してください。

説明の図は横設置状態です。

1 Feed/Stopボタンを押して保存したいシート面を前面に出す

- 現在見えているシート面を保存する場合この操作は不要です。
- Feed/Stopボタンを押すとシート面を1面分左方向（または上方向）にスクロール（約12秒）して自動停止します。途中で停止するにはもう一度Feed/Stopボタンを押します。26ページ

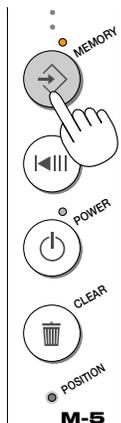


2 Memoryボタンを押してメモリに保存する

- シートが左方向（または上方向）に1面分スクロールして画像読み取りを開始し、その後内部メモリに保存されます。
- メモリ保存動作中はMemoryランプが遅い点滅をします。

■間欠点滅になった場合

- 内蔵メモリが容量不足の場合は間欠点滅（警告表示）に変わります。
 - ・内蔵メモリをクリアするか（26ページ「内蔵メモリクリアのしかた」）、または空き容量が十分あるCFメモリカードを挿入し、Memoryボタンを押し直してください。
- スクロール後、間欠点滅（警告表示）になった場合
 - ・メモリへのファイル保存時にメモリ容量が不足することがあります。この場合、読み取ったデータがメモリ上に残った状態で間欠点滅となります。
 - ・データをファイルに保存するには、空き容量が十分なCFメモリカードを挿入し、Memoryボタンを押してください。
 - ・メモリクリア処理およびFeed/StopボタンまたはPowerボタンを押すと読み取ったデータは破棄されますのでご注意ください。
 - ・再度、同じ面の保存を行う場合は、シート面を前面に出してからMemoryボタンを押してください。



お知らせ

- CFメモリカードが差し込まれていると内蔵メモリには保存されずCFメモリカードに保存されます。
- シート面の周囲は読み取りできません。22ページ「読み取り許容範囲について」をご覧ください。
- 文字のかすれや薄い線、マーカーの重なりなどにより、部分的に濃度が異なったり読み取りできない場合があります。
- 内蔵メモリに保存した画像ファイルをパソコンに保存するには27ページをご覧ください。
- 内蔵メモリ専用の最大メモリ容量は約1.8MB、ファイル数は約10～20枚（描画の量によってデータ容量が異なります）です。
- 読み取り動作中（Memoryランプの遅い点滅）にFeed/Stopボタンを押さないでください。メモリ保存が中断され画像データは破棄されます。
- シート面を移動させる場合は、スクロールが停止してからFeed/Stopボタンを押してください。
- 保存されたファイルの日付は2004年1月1日の固定となります。
なお、「M-5セットアップユーティリティ」の機能を使って変更ができます。

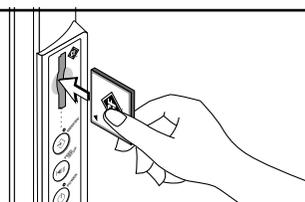
■CFメモリに保存する場合

準備：Powerランプが点灯していることを確認してください。消えているときはPowerボタンを押してください。

説明の図は横設置状態です。

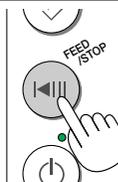
1 本体のカードスロットにCFメモリカードを差し込んでください。

- CFメモリカードの入れ方は22ページをご覧ください。



2 Feed/Stopボタンを押して保存したいシート面を前面に出す

- 現在見えているシート面を保存する場合この操作は不要です。
- Feed/Stopボタンを押すとシート面を1面分左方向（または上方向）にスクロール（約12秒）して自動停止します。途中で停止するにはもう一度Feed/Stopボタンを押します。



3 Memoryボタンを押してメモリに保存する

- シートが左方向（または上方向）に1面分スクロールして画像読み取りを開始し、その後CFメモリカードに保存されます。
- メモリ保存動作中はMemoryランプが遅い点滅をします。

■間欠点滅になった場合

- CFメモリカードがメモリ容量不足の場合は間欠点滅（警告表示）に変わります。
 - ・ 空き容量が十分あるCFメモリカードを挿入し、Memoryボタンを押し直してください。
 - ・ メモリ保存をやめるにはFeed/StopボタンまたはPowerボタンを押してください。
- スクロール後、間欠点滅（警告表示）になった場合
 - ・ CFメモリカードへのファイル保存時にメモリ容量が不足することがあります。この場合、読み取ったデータがメモリ上に残った状態で間欠点滅となります。
 - ・ データをファイルに保存するには、空き容量が十分なCFメモリカードに差し替えてから、Memoryボタンを押してください。
 - ・ Feed/StopボタンまたはPowerボタンを押すと読み取ったデータは破棄されますのでご注意ください。
 - ・ 再度、同じ面の保存を行う場合は、シート面を前面に出してからMemoryボタンを押してください。



お知らせ

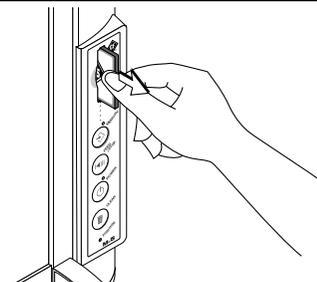
- CFメモリカードによっては、認識に時間のかかる場合があります。
- シート面の周囲は読み取りできません。22ページ「読み取り許容範囲について」をご覧ください。
- 文字のかすれや薄い線、マーカの重なりなどにより、部分的に濃度が異なったり読み取りできない場合があります。
- 読み取り動作中（Memoryランプの遅い点滅）にFeed/Stopボタンを押さないでください。メモリ保存が中断され画像データは破棄されます。
- シート面を移動させる場合は、スクロールが停止してからFeed/Stopボタンを押してください。
- 保存されたファイルの日付は2004年1月1日の固定となります。
なお、「M-5セットアップユーティリティ」の機能を使って変更ができます。

4 メモリカードを取り出すには

Memoryランプの点滅が消灯に変わったのを確認してからCFメモリカードを引きだしてください。

ご注意

- メモリ保存中（Memoryランプの遅い点滅中）はCFメモリカードを抜かないでください。データが破損します。
なお、メモリ容量の不足を示す間欠点滅中はCFメモリカードの引きだしできません。



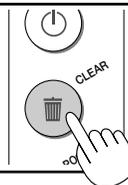
内蔵メモリアリアのしかた

内蔵メモリの全ての画像ファイルを消去します。

ご注意 次の操作は内蔵メモリの画像ファイルを全て消去する操作です。大切な画像ファイルは消去の前に必ずCFメモリカードやパソコンに保存してください。

Clearボタンを3秒以上押し続けます。

3秒間押し続け後、Memoryランプが低速点滅してファイルの消去をはじめます。クリアエラーが発生した場合は、エラー点滅に変わります。もう一度やり直してみてください。



シート面スクロールのしかた

1面を使い切って2面目へスクロールするときと保存開始位置を調整する場合にFeed/Stopボタンを使います。スタンバイ状態でもスクロールします。

説明の図は横設置状態です。

■電動でシート面を移動させる場合

Feed/Stopボタンを押します。

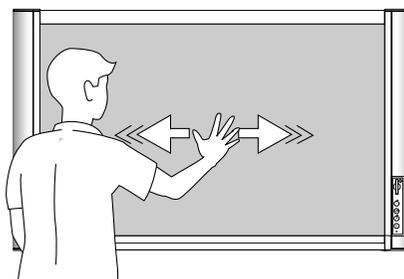
1面分シートが左方向（または上方向へ）スクロールします。

- 途中で停止するにはFeed/Stopボタンを押します。



■手動でシート面を移動させる場合

本体の電源が切れていても移動させることができます。手のひらでシートを移動させます。右左（または上下*1）どちらでも移動できますが、上下（または左右*1）方向の中央に手を当てて静かに移動させてください。（*1 縦置き設置時の場合です。）



ご注意

急な移動は本体の駆動部分を損傷させる原因となります。

縦設置／横設置の設定

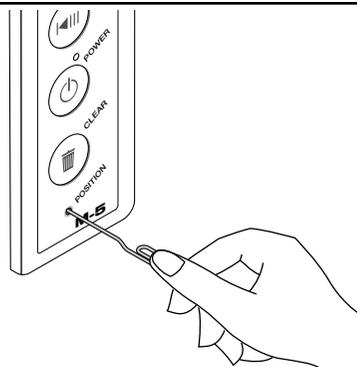
縦設置と横設置では画像の記録方向が異なります（工場出荷状態時は横設置に設定されています）。

- クリップを伸ばしたものを準備してください。
- Powerランプが点灯していることを確認してください。消えているときはPowerボタンを押してください。
- 操作部のPositionの針穴にピンを入れて押します。Memoryランプが5秒間低速点滅して縦置きに設定されます。

横置きに戻すにはもう一度押します。

Powerランプが5秒間低速点滅して横置きに設定されます。

針穴内のボタンは押すごとに縦置き／横置き設定が交互に切り換わります。



画像ファイルをパソコンに保存する

内蔵メモリまたはCFメモリカードに保存されている画像ファイルをパソコンのハードディスクに保存したり消去する方法です。

- 内蔵メモリに記録された画像ファイルは本機に付属のUSBケーブルをパソコンに接続して保存します。
- CFメモリカードに記録された画像ファイルは上記の方法と市販のPCカードアダプタやCFカードリーダー/ライターを使用してパソコンに保存する方法があります。
- パソコンの使いかたは参考で記載しています。OSによって異なりますので詳しくはパソコンの説明書やパソコンのヘルプをご覧ください。
- 対応OS（オペレーションシステム）は Microsoft Windows 98SE / Me / 2000 / XP。
対応パソコンは 上記OS が動作するIBM PC/AT 完全互換機です。

本体と直接USB接続して保存／消去する（内蔵メモリ／CFメモリカード）

ご注意

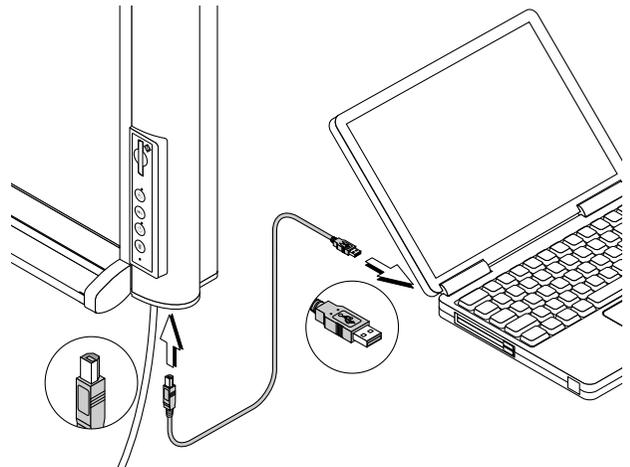
- Windows 98SEをお使いの場合、本体とパソコンをはじめてUSB接続するときは、接続の前に必ず添付の専用ドライバをパソコンにインストールしてください（39ページ参照）。
Windows Me/2000/XPのパソコンは自動でUSBドライバがインストールされます（41ページ参照）。
- 内蔵メモリは、基本的にコピーボードの情報を保存する目的でご使用ください。パソコンデータの一時保存などに使用することはおやめください。大量データの書き込みなどを行った場合、終了まで数分かかる場合があります。
- パソコンからM-5のディスクドライブ（内蔵メモリ）のフォーマットはできません。また、CFメモリへのNTFS形式でのフォーマットには対応していません。
- Windows98SEおよびMe標準のイメージビューワでM-5のTIFFファイルを開いた場合、横線が入ることがあります。付属の「PLUSイメージビューワ」か他のビューワソフトをお使いください。
- Windows2000をご使用のお客様へ
ファイルエクスプローラなどで、M-5ドライブのファイル処理（削除やファイル移動）を行った場合、その後のM-5の操作やUSB接続の切断は20秒以上待ってから行うようにしてください（ファイル処理後にM-5ドライブの内容が完全に書き換わるまで十数秒かかる場合があります）。
- M-5本体でのメモリ保存中は、USBケーブルの抜き差しや、M-5ドライブへのアクセスは行わないでください。パソコン側の動作が不安定となることがあります。
また、パソコンでM-5ドライブをアクセス中は、M-5本体の操作を行わないでください。M-5の応答に時間がかかったり、操作ができない場合があります。

USBケーブルを接続する

本体のUSB端子とパソコンのUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。

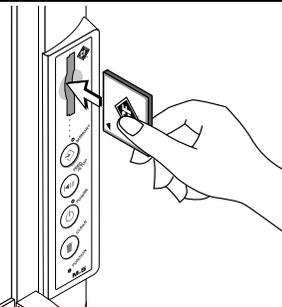
お知らせ

- Powerランプが消えていても本体とパソコンを接続するとパソコンは自動的にコピーボードを認識します。



2 CFメモリカードの場合は、本体のカードスロットにCFメモリカードを差し込みます。

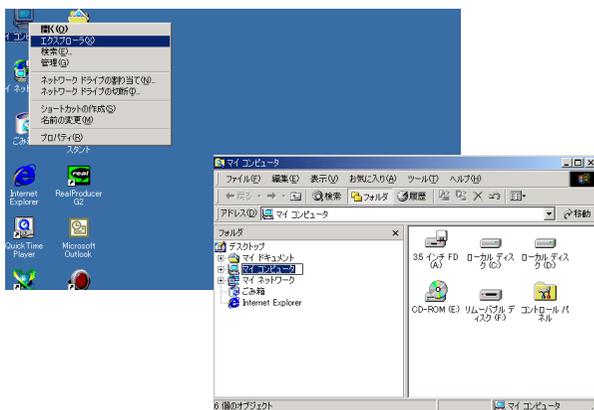
内蔵メモリの場合は不要です。



3 パソコンのマイコンピュータを開きます。

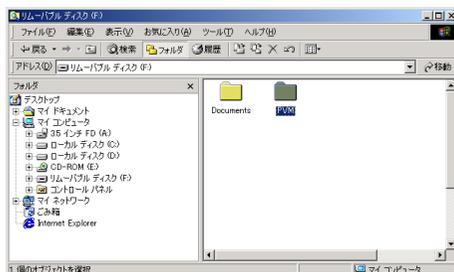
① 「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックし、メニューの「エクスプローラ」を左クリックします。

- 「マイコンピュータ」のアイコンをクリックしても開きます。



② リムーバブル記憶装置から「リムーバブル [F]」のドライブを開きます（ドライブ番号はパソコンのシステムによって異なります）。

CFメモリカードはリムーバブル記憶装置から「リムーバブル [G]」のドライブを開きます（ドライブ番号はパソコンのシステムによって異なります）。

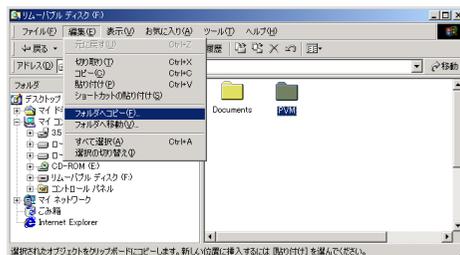


4 本体側の画像フォルダをパソコンに保存する

“PVM”名のフォルダがコピーボードの画像フォルダです。PVMフォルダを選択してからエクスプローラメニューの「編集」→「フォルダへコピー」でコピー先のフォルダを選択して「OK」をクリックします。コピー方法は1例です。

お知らせ

- PVMフォルダの中の画像ファイル名は MBxxxxxx.tif で、xxxxxxはメモリ保存順に6桁の番号がふられます（例 MBOOOO01.tif）。
- CD-ROMに収録されている「PLUS イメージビューワ」を使ってコピーボードの画像ファイルを確認して保存や消去などができます。45ページ参照

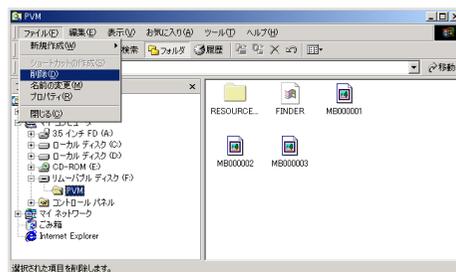


ファイルを消去する場合

内蔵メモリやCFメモ리카ードの容量がなくなったときは画像ファイルを消去する必要があります。

(なお、内蔵メモリの全消去は本体操作のClearボタンで消去することができます。)

- (1) 内蔵メモリに対応するドライブまたはCFメモリに対応するドライブを選択します。(手順①～③)
- (2) ③の操作のときPVMまたはPVMフォルダを開いてその中の画像ファイルを選択してから、エクスプローラメニューの[ファイル] → [削除]をクリックします。
全ての画像ファイルを消去するにはPVMフォルダを消去します。



で注意

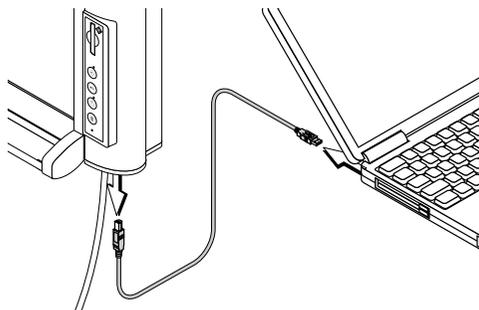
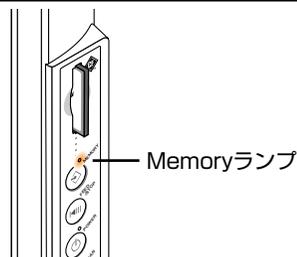
- 大切な画像ファイルは消去の前にならずパソコンやCFカードメモリに保存してください(データのバックアップ)。
- 保存や消去中は、CFカードを抜いたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。データが破損します。
- USB機器を複数台パソコンに接続して同時に使用している場合は、正しく動作しない場合があります。
- USBハブに接続している場合、延長ケーブルを使って接続している場合は正しく動作しない場合があります。パソコンのUSB端子に直接接続してください。

5 USBケーブルを外す

パソコンのOSによって終了操作が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書やパソコンのヘルプをご覧ください。

[Windows98SE]

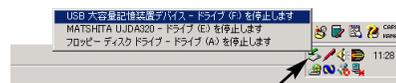
- ① Memoryランプの点滅が消灯に変わったのを確認します。
- ② 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、メニューの[取り出し]を左クリックします。
しばらくまってから手順③へ進みます。
- ③ USBケーブルを外します。



[Windows Me/2000/XP]

① Memoryランプの点滅が消灯に変わったのを確認します。

② タスクバーにある [ハードウェアの取り外し] アイコンをクリックして取り外すUSBドライブ（例「USB 大容量記憶装置デバイス(E:)」）をクリックします。



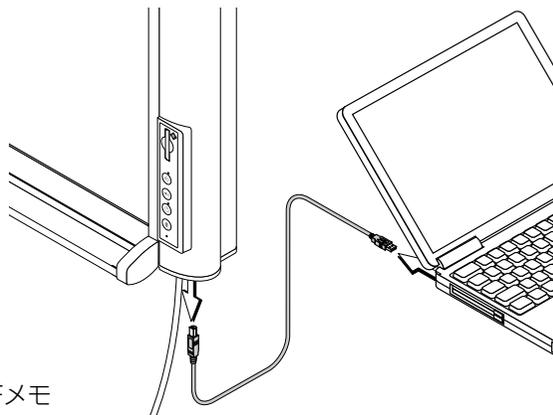
【ハードウェアの取り外し】アイコン例

③ 「USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。」の画面を表示したら [OK] をクリックします。（Windows XPには [OK] はありません。[X] をクリックして閉じます。）



CFメモ리카ードに保存していた場合は、CFメモ리카ードを引きだします。

④ USBケーブルを外します。



ご注意

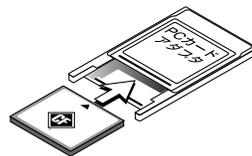
- メモリ保存中（Memoryランプの遅い点滅中）はCFメモ리카ードを抜かないでください。データが破損します。
- パソコンが周辺機器の状態チェック動作中など、正常にUSBドライブの切断ができないことがあります。

PCカードアダプタやメモリカードリーダー/ライター(USB接続タイプ)を使用する

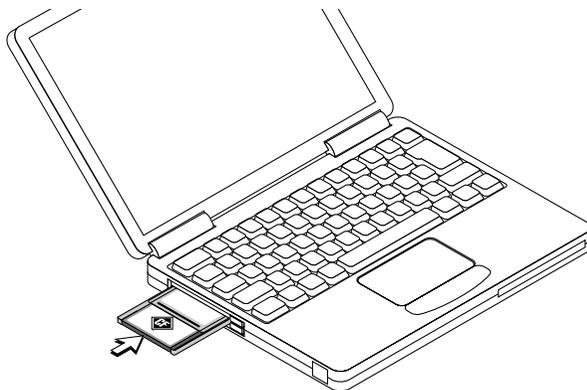
別売品のメモリカードリーダー/ライター、PCカードアダプタ (CFカード用) または市販品を準備してください。

■PCカードアダプタを使用

1 PCカードアダプタにCFメモリカードを取り付ける



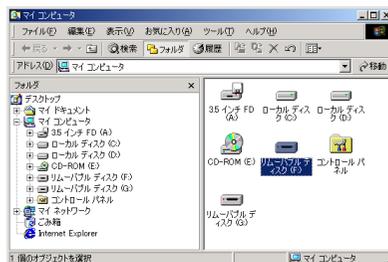
2 パソコンのカードスロットに挿入する



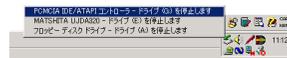
3 パソコンのマイコンピュータを開きます。

「マイコンピュータ」のアイコンをクリックしても開きます。
リムーバブル記憶装置から「リムーバブル [F]」のドライブを開きます (ドライブ番号 (例では [F]) はパソコンのシステムによって異なります)。

以下の操作は「本体と直接USB接続して保存/消去する」27ページの4以降をご覧ください。

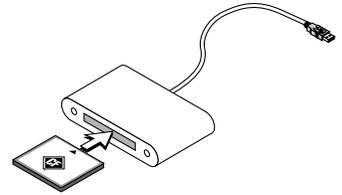


- なおPCカードアダプタの取り外しは、[ハードウェアの取り外し] アイコンをクリックしてコントローラドライブ (例「PCMCIA IDE/ATAPIコントローラドライブ(E:)」) を選択します。

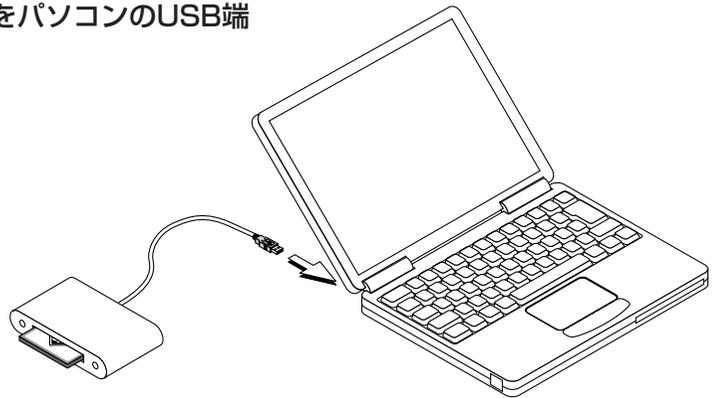


■メモリーカードリーダー/ライター (USB接続タイプ)

1 メモリーカードリーダー/ライターのCFカードスロットにCFカードを差し込む



2 メモリーカードリーダー/ライターをパソコンのUSB端子に接続する



3 パソコンのマイコンピュータを開きます。

「マイコンピュータ」のアイコンをクリックしても開きます。リムーバブル記憶装置からCFカードに対応したドライバを開きます

ドライブ番号はパソコンのシステムおよびメモリーカードリーダー/ライターのスロット数によって異なります。

わからない場合はPVMフォルダが保存されているリムーバブルドライブを探してください。

以下の操作は「本体と直接USB接続して保存/消去する」27ページの4以降をご覧ください。



故障と思われる前にもう一度ご確認ください

修理を依頼される前に次のことをご確認ください。

状態	ご確認ください
Powerボタンを押して電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● AC電源アダプタのコードが本体のDC端子やコンセントから抜けていないか確認してください。
シートに記入した文字がイレーサーで消えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 専用マーカー以外のマーカーを使用していませんか？ (水または中性洗剤をふくませた布をよくしぼって、ていねいに拭きとってください。)
文字や線に読み取られない部分がある	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字のかすれや薄い線は読み取りできない部分があります。 ● 動作環境によっては蛍光灯点灯直後、安定した画質を得られない場合があります。蛍光灯点灯後約5分間待ってからメモリ保存を行ってください。 ● M-5セットアップユーティリティで濃度を調整してください。 ● クイックキャリブレーションを行ってみてください。(35ページ参照)
読み取り画像が汚い	<ul style="list-style-type: none"> ● シートにマーカーのカスがたくさん付着していませんか？ (汚れている場合は、やわらかい布に水をふくませ、かたく絞ってから、シートをなでるように拭いてください。) ● クイックキャリブレーションを行ってみてください。(35ページ参照)
読み取り画像の上下が黒く帯状になる	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯の寿命が考えられます。 蛍光灯の交換を、お買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。 ● クイックキャリブレーションを行ってください。(35ページ参照)
読み取り画像に罫線が読み取られる	<ul style="list-style-type: none"> ● M-5セットアップユーティリティで濃度を調整してください。 ● クイックキャリブレーションを行ってみてください。(35ページ参照)
読み取り画像が縦横反転している	<ul style="list-style-type: none"> ● 縦設置／横設置の設定が間違っていないですか？ 26ページの「縦設置／横設置の設定」で変更してください。
MemoryランプとPowerランプが交互に高速点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯が点灯できない、キャリブレーションエラーまたは内蔵メモリエラー（保存／消去できない）が発生したことが考えられます。弊社カスタマーセンターにお問い合わせください。
MemoryランプとPowerランプが交互に高速点滅し、数秒後に元に戻る	<ul style="list-style-type: none"> ● CFメモリ関連のエラー <ul style="list-style-type: none"> ・ CFメモリ保存エラー ・ 弊社で動作確認済みのCFメモリカード（またはアダプタ）をご使用ください。ホームページにて情報を公開しています。 (http://www.plus-vision.com) ● 縦横設定変更のエラー Positionボタンをもう一度押してみてください。
Memoryランプが間欠点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵メモリまたはCFメモリカードの空き容量がなくなりました。空き容量を確保し、保存処理を行ってください。(「間欠点滅になった場合」24, 25ページ参照)

● エラーが発生した場合は、エラーログが内蔵メモリに記録されます。エラーが解決できない場合、このエラーログファイル（M5.err）の情報を参照することがありますので、保存しておいてください。

※以上の処置を行っても直らない場合は、お買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお問い合わせください。

仕様

形態	設置方式	壁掛け（横置き標準） オプション対応：スタンド 縦／横置き、パーティション 横置き
	外形寸法（本体のみ）	W1175×H708×D93 mm（突起部含まず）
	質量（本体）	12.5Kg
ボード	ボード面寸法	W1018×H625mm
	読取有効寸法	W978×H578 mm
	面数	2面
	ページ送り	一方向エンドレス（横または縦スクロール）
	駆動方式	シート移動式（横置き時：左スクロール、縦置き時：上スクロール）
	読取方式	モノクロCCDセンサー縮小光学系方式
	読取解像度	2.7dot/mm（66dpi 相当）
	読取時間	約12秒
	読取光源	冷陰極管（CCFL）
メモリ部	内蔵メモリ	内蔵フラッシュメモリ、有効容量：約1.8MB
	外部メモリ	コンパクトフラッシュカード（CFカード）TYPE I、TYPE II *1
	対応FAT形式	FAT12, 16, 32
	ファイル形式	TIFF 形式（Packbits圧縮）（PNG形式はオプション指定可）
操作部	操作ボタン	Power, Memory, Clear, Feed/Stop, Position
	表示	Power LED（緑）、Memory LED（オレンジ）
PC接続	インタフェース	USB 2.0準拠 Full Speed 12Mbps
	ポート	USB Bタイプ
	対応パソコン	USB 端子を標準装備し、Windows 98SE/Me/2000/XPがインストールされているパソコン
	ドライバソフト	Windows 98SE：専用ドライバを提供 （Windows Me/2000/XPはOS標準ドライバ）
電源	AC電源アダプタ	入力：AC100-240V, 50/60Hz 出力：DC 19V, 3.42A. 消費電力：約40W
動作環境	温度	10℃～35℃
	湿度	30%～85%（結露なきこと）
その他	野線	34mm方眼
付属品	マーカー（赤・黒）、イレーサ、AC電源アダプタ（電源コード3m）、USBケーブル（3m）、 ドライバセットアップCD-ROM、取扱説明書（簡易版）、壁掛け位置決めシート、保証書、 ユーザー登録カード、FAX登録用紙、FAX問い合わせフォーム、お問い合わせシール	

※1：CFメモリカードは別売です。

※2：Internet Explorer 5.0以上、Netscape4.04以上のブラウザで開きます

●品質改善のため、予告なく本体外観、仕様などを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

クイックキャリブレーションのしかた

シート面の読み取り感度を最適に調整する（キャリブレーション）方法を記載しています。
蛍光ランプを交換された場合や、壁掛けなどで暗線（横方向に発生する黒い線）が発生する場合は、以下の手順でクイックキャリブレーションを行ってください。

1

シート面を清掃します

はじめに、シート面の左側から約10cmの幅をきれいにします。

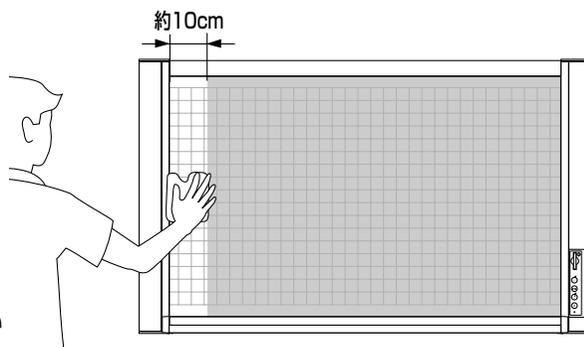
書き残しの無いよう完全に拭き取ってください。

※シート面はよくしぼった布で水拭きしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めたもので拭き、その後洗剤が残らないよう水拭きしてください。

ご注意

清掃する左側10cm部分にはシートの継ぎ目がこないようシートを移動させてください。



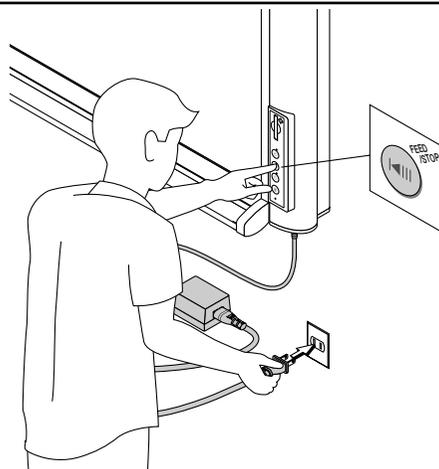
2

キャリブレーションの開始

準備：電源プラグがコンセントに接続されている場合は、抜いてください。

Feed/Stopボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- シートが自動的に約1マス分移動し、キャリブレーション処理を行います。
- 処理中はMemoryランプが低速点滅し続けます（約5分間）。
- 処理が終了すると電源が切れます。
Powerボタンを押すと、通常の操作が再開できます。



消耗品・別売品のご案内

詳しくは、お近くの弊社営業所・販売会社または取扱店にお問い合わせください。

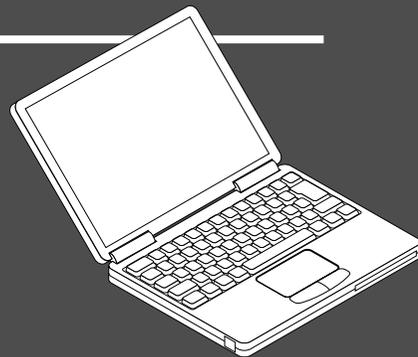
■消耗品

品名	品番	注文番号
ボードマーカー	ブラック	42-890
	レッド	42-891
専用イレーサ		51-058

■別売品

品名	品番	注文番号
M-5専用スタンド	M-5-T	44-551
M-5用パーティションハンガー(50~60mm)	M-5-P	44-552
縦用壁掛けキット	M-5-W	44-563
CFメモ리카ード32MB	HPC-CF32ZX	44-179
PCカードアダプタ	HPC-ADP 01	44-181
USBリーダー/ライター	HBC-UC1	44-182
CFアダプタ (SD/メモリースティック/MMC)	使用可能なCFアダプタについては弊社のホームページをご覧ください。	

ソフトウェア ガイド編



本体に付属のCD-ROMに収録されているソフトウェアのインストールと起動方法を記載しています。

ソフトウェアの使い方は各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ソフトウェアご使用の前に

収録されているソフトウェアと概要

付属のCD-ROMには次のソフトウェアおよびマニュアルが収録されています。ソフトウェアの使い方は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

■ M-5 USB ドライバ（Windows 98SE 専用）

USB接続のとき本機を外部デバイスとして認識させるドライバソフトウェアです。Windows98SE専用です。

■ M-5セットアップユーティリティ

M-5の動作環境を設定するユーティリティです。

■ M-5 取扱説明書

取扱説明書をPDF形式で収録しています。

■ PLUS イメージビューワ

内蔵メモリやCFメモリに記録された画像データをパソコンで表示・印刷させるソフトウェアです。

■ Acrobat Reader

PDF形式のファイルを閲覧するソフトウェアです。

※CD-ROMの閲覧

CD-ROMの内容をパソコンのエクスプローラを使って表示します。

※著作権・使用条件

著作権および使用条件などを開きます。

ご注意

Windows 2000は「Administrator」の権限（管理者権限のあるユーザー）でインストールしてください。

Windows XPは「コンピュータの管理者」の権限（アカウント）でインストールしてください。

お知らせ

ヘルプに関して

イメージビューワアプリケーションおよびセットアップユーティリティのヘルプは、オンラインでのマイクロソフトHTMLヘルプ形式を採用しています。

動作環境

対応OS： Microsoft Windows 98SE / Me / 2000 Professional (Service Pack 3以上) / XP (Home Edition / Professional Edition Service Pack 1以上)

対応PC： 上記OS が動作するIBM PC/AT 完全互換機

CPU： Pentium II以上のプロセッサ

メモリ： Windows 98SE/Me (64MB以上)、Windows 2000 (128MB以上)、Windows XP (256MB以上)、

空きHD 容量： 40MB 以上

表示解像度： 800 x 600 ピクセル以上

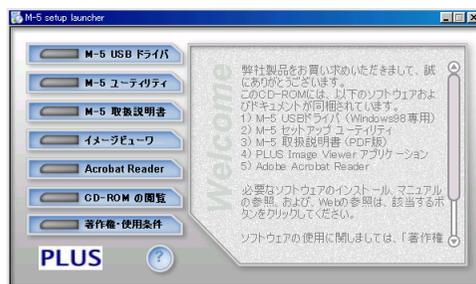
周辺器機： CD-ROMドライブ、標準のUSBポート

Webブラウザ： Internet Explorer 5.0以上

ご注意

●上記の動作環境ですべての動作を保証するものではありません。

●Windows 95/NT/2000 Server /Server 2003 には対応していません。



【スタートメニュー画面】

Windows 98SEのパソコンとUSB接続するには

本機とUSB接続し、Windows 98SEで使用するには、次の手順でドライバをセットアップしてください。

ドライバのセットアップ (Windows 98SE)

ご注意

- 手順4までは、**本機をパソコンに接続しないでください。**
- Windows Me, 2000, XPの場合は、ドライバセットアップの必要はありません。本機をUSB接続してください。Windowsの標準ドライバが自動的にインストールされます。
- Windows 95, NT, 2000 Server, Server 2003 には対応しておりません。

セットアップの流れ

添付のCD-ROMより
セットアップを実行

本機とUSB接続

ドライバの
インストール確認

1

インストールの準備

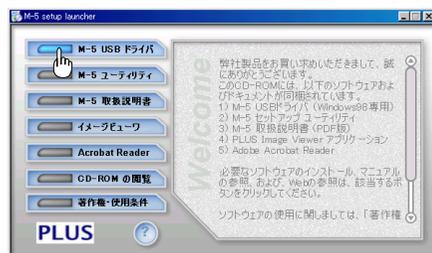
パソコンの起動中のアプリケーションソフトを終了してください。終了させないとインストールが正常に終了しない場合があります。

2

付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットする

自動的にメニュー画面が表示されます。

- 自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。



3

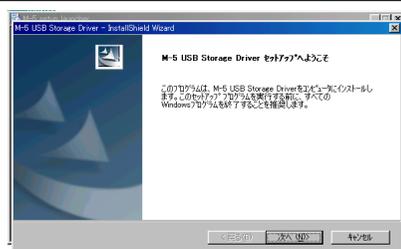
[M-5 USBドライバ] をクリックします。

インストーラが起動します。画面のメッセージに従ってインストールしてください。

お知らせ

- セットアップの前に本機が接続されているとドライバを要求する画面が表示されます。[キャンセル] をクリックし、本機の電源コードを抜いてください。

この場合はドライバセットアップ後、パソコンを再起動してください。

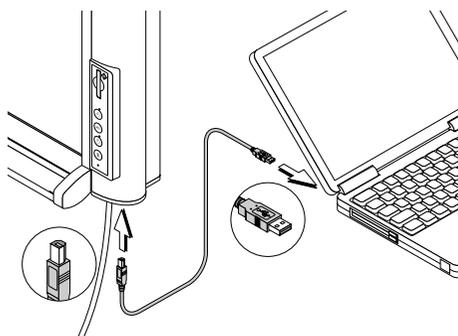


4

本機と接続します

本機のUSB端子とパソコンをUSBケーブルで接続し、電源コードを電源コンセントに差し込みます。次に本機のPOWERボタンを押して電源を入れます。

- 本機と始めて接続したときは「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 本機が正常に動作していることをご確認ください。



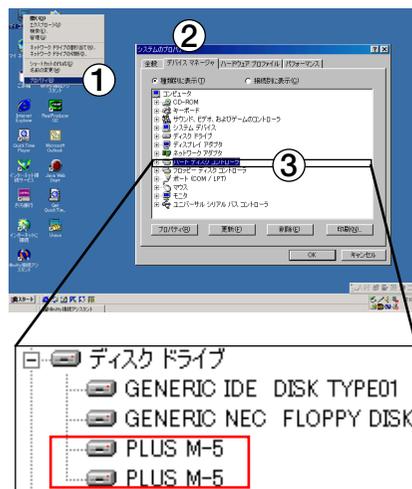
5 デバイスマネージャ画面を開いてインストールの確認をします。

- ① [マイコンピュータ] を右クリックし、メニューの [プロパティ] をクリックすると [システムのプロパティ] 画面が開きます。
- ② デバイスマネージャのタグをクリックすると [デバイスマネージャ] 画面に替わります。
- ③ [ハードディスクコントローラ] の左にある [+] をクリックして、右記のドライバ名が表示されていることを確認します。

これでセットアップが終了しました

お知らせ

- [!] や [×] が付いている場合は、ドライバを削除してからセットアップをやり直してください。
削除するには [!] や [×] マークのドライバ上で右クリックしてメニューを出し、[削除] をクリックすると削除されます。



ドライバのアンインストール (Windows 98SE)

ドライバをアンインストールするときは、次の手順で行ってください。

1 ソフトウェアの追加と削除画面を開きます。

- ① [スタート] メニューの [設定] → [コントロールパネル] をクリックするとコントロールパネル画面が開きます。
- ② [ソフトウェアの追加と削除] アイコンをクリックするとソフトウェアの追加と削除画面が開きます。



2 M-5ドライバをアンインストールします。

- ① [M-5 USB Storage Driver] をクリックして、[追加と削除] をクリックすると追加と削除ウィザード画面が表示されます。
- ② ウィザードの [削除] のラジオボタンを選択し [次へ] をクリックします。
アンインストールを開始します。



Windows Me/2000/XPのパソコンをUSB接続するには

Windows Me/2000/XPのパソコンと本機をUSB接続する場合は、ドライバのセットアップの必要はありません。本機とパソコンをはじめて接続したときは自動的にドライバがインストールされます。

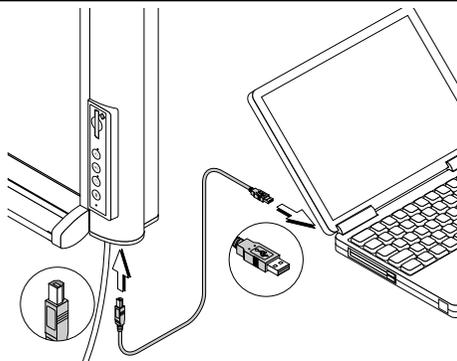
1 本機とパソコンを接続します

本機のUSB端子とパソコンをUSBケーブルで接続し、本機のPOWERボタンを押して電源を入れます。

Windowsの標準ドライバが自動的にインストールされます。

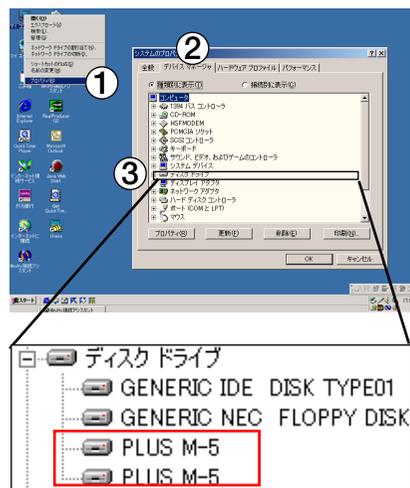
お知らせ

- Windows MEの場合、OSのCD-ROMまたはフロッピーディスクが必要となることがあります。



2 本機が正常に動作しているか確認します。

- ① [マイコンピュータ] を右クリックし、メニューの [プロパティ] をクリックすると [システムのプロパティ] 画面が開きます。
 - ・ Windows XPの場合は [スタート] メニューにある [マイコンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。
- ② デバイスマネージャのタブをクリックすると [デバイスマネージャ] 画面に替わります。
- ③ [ディスクドライブ] の左にある [+] をクリックして、右記のドライバ名が表示されていることを確認します。



本機の取り外し

Windows動作中に本機を取り外すときは、以下の手順に従ってください。

お知らせ Windowsのバージョンによって、取り外しのアイコンや表示されるメッセージが異なります。その場合も同様の手順で取り外し操作を行ってください。

Windows 98SEの場合

1 パソコンの切断操作をします。

- ① Memoryランプの点滅が消灯に変わったのを確認します。
- ② 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、メニューの「取り出し」を左クリックします。
しばらくまってから手順②へ進みます。



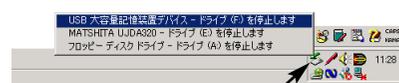
2 USBケーブルをパソコンから外します。

Windows Me/2000/XPの場合

1 パソコンの切断操作をします。

- ① タスクトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコン（例：）をクリックします。
- ② 「USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ (E) を安全に取り外します」(Eのドライブ番号はパソコンのシステムによって異なります) をクリックします。
- ③ 「USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ (E) は安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK] をクリックします。

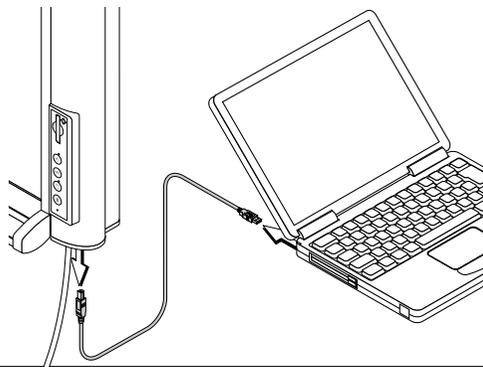
※Windows XPの場合はメッセージ画面に [OK] はありません。そのまま切断できます。



【ハードウェアの取り外し】アイコン例



2 USBケーブルをパソコンから外します。



M-5セットアップユーティリティを使うには

M-5セットアップユーティリティを使用すると、本機の動作環境を変更することができます。

内容：保存イメージフォーマット／イメージファイルのタイムスタンプ／オートパワーオフまでの時間／蛍光灯ランプ安定の待ち時間／濃淡調整／縦横置き／拡張クリア

インストールのしかた

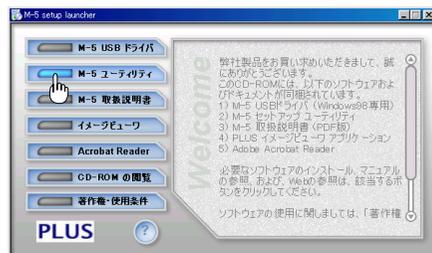
1 インストールの準備

パソコンの起動中のアプリケーションソフトを終了してください。終了させないとインストールが正常に終了しない場合があります。

2 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットする

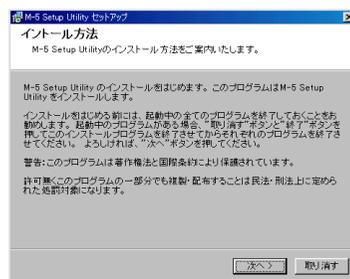
自動的にメニュー画面が表示されます。

自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。



3 [M-5 ユーティリティ] をクリックします。

インストーラが起動します。画面のメッセージに従ってインストールしてください。



起動のしかた

パソコンの [スタート] → [プログラム] → [PLUS Copyboard] → [M-5セットアップユーティリティ] をクリックします。

M-5セットアップユーティリティが起動します。

使いかたは「M-5セットアップユーティリティヘルプ」をご覧ください。



取扱説明書を見るには

CD-ROMに収録されている取扱説明書はPDF形式です。Acrobat Readerがインストールされていないパソコンの環境では [Acrobat Reader] を先にインストールしてください。

Acrobat Reader インストールのしかた

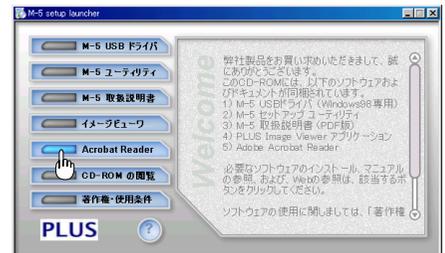
1 インストールの準備

パソコンの起動中のアプリケーションソフトを終了してください。終了させないとインストールが正常に終了しない場合があります。

2 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットする

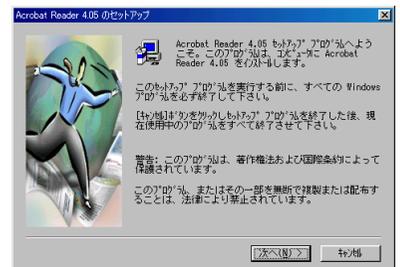
自動的にメニュー画面が表示されます。

- 自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。



3 [Acrobat Reader] をクリックします。

インストーラが起動します。
画面のメッセージに従ってインストールしてください。

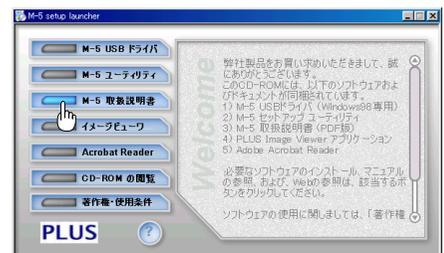


M-5 取扱説明書の開きかた

1 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットします。

自動的にメニュー画面が表示されます。

- 自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。



2 [M-5 取扱説明書] をクリックすると取扱説明書が開きます。

イメージビューワを使うには

内蔵メモリやCFメモリに記録された画像データをパソコンで表示・印刷させるにはPLUS イメージビューワをインストールしてください。

インストールのしかた

1

インストールの準備

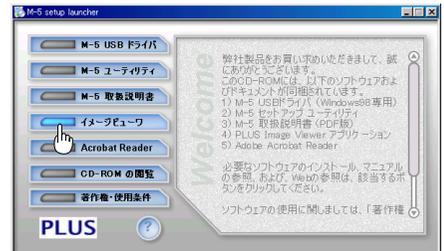
パソコンの起動中のアプリケーションソフトを終了してください。終了させないとインストールが正常に終了しない場合があります。

2

付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットする

自動的にメニュー画面が表示されます。

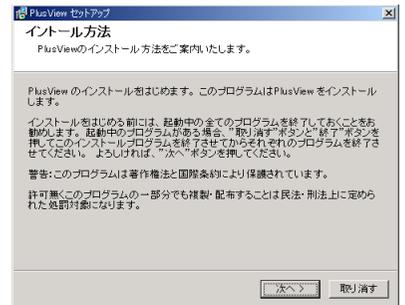
自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。



3

【イメージビューワ】をリックします。

インストーラが起動します。画面のメッセージに従ってインストールしてください。

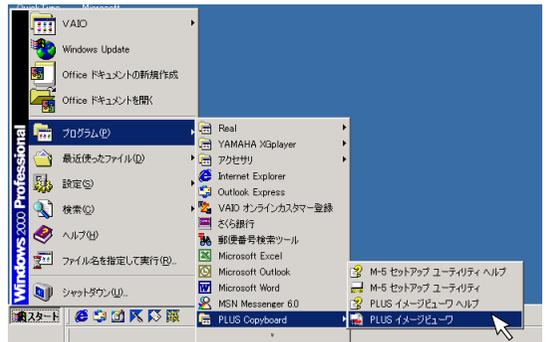


起動のしかた

パソコンの【スタート】→【プログラム】→【PLUS Copyboard】→【PLUS イメージビューワ】をクリックします。

PLUSイメージビューワが起動します。

使いかたは「PLUS イメージビューワヘルプ」をご覧ください。

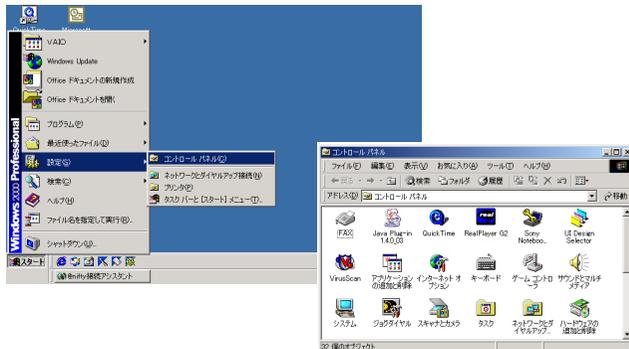


ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアがいなくなった場合にはアンインストールを行ってください。

1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択します。

コントロールパネル画面が表示されます。



2

「プログラムまたはアプリケーション (OSによって異なります) の追加と削除」ダブルクリックします。

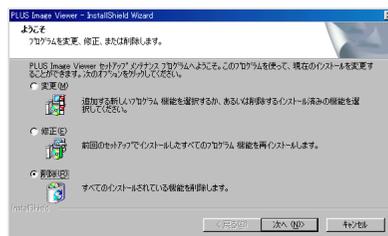
「プログラムの追加と削除のプロパティ」画面が表示されます。一覧表示の中から削除するプログラムを選択し [変更/削除] をクリックすると追加と削除ウィザード画面が表示されます。



3

ウィザードの [削除] のラジオボタンを選択し [次へ] をクリックします。

アンインストールを開始します。



アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合は、次の要領で修理させていただきます。お買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお申し出ください。なお、保証内容、使い方など不明な点につきましても、お買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」をご利用ください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された保証書(ご購入日より1年以内)が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲で、無料修理させていただきます。

※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内にあっても、下記のような場合はすべて有料となります。また、運賃諸掛りは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または取扱店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱い上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛り、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、樟腦の入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生)により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手元に保管してください。
5. 修理の場合は、購入時の外箱か同等の箱に入れてしっかり包装してください。

●修理部品の保有期間

「コピーボード」の補修用部品は、製造中止後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則としてお引受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも、修理できる場合もありますので、詳しくはお買い上げの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお問い合わせください。

PLUS Vision Corp.

プラスビジョン株式会社

〒112-0013 東京都文京区音羽1-20-11
www.plus-vision.com

プラスビジョン カスタマーセンター

TEL ☎ 0120-331-059



ISO 14001 認証取得
プラスビジョン入船オフィス/
入船ファクトリー
NGE-021011BA



ISO 9001 認証取得
プラスビジョン入船ファクトリー
12 100 17398 TMS